

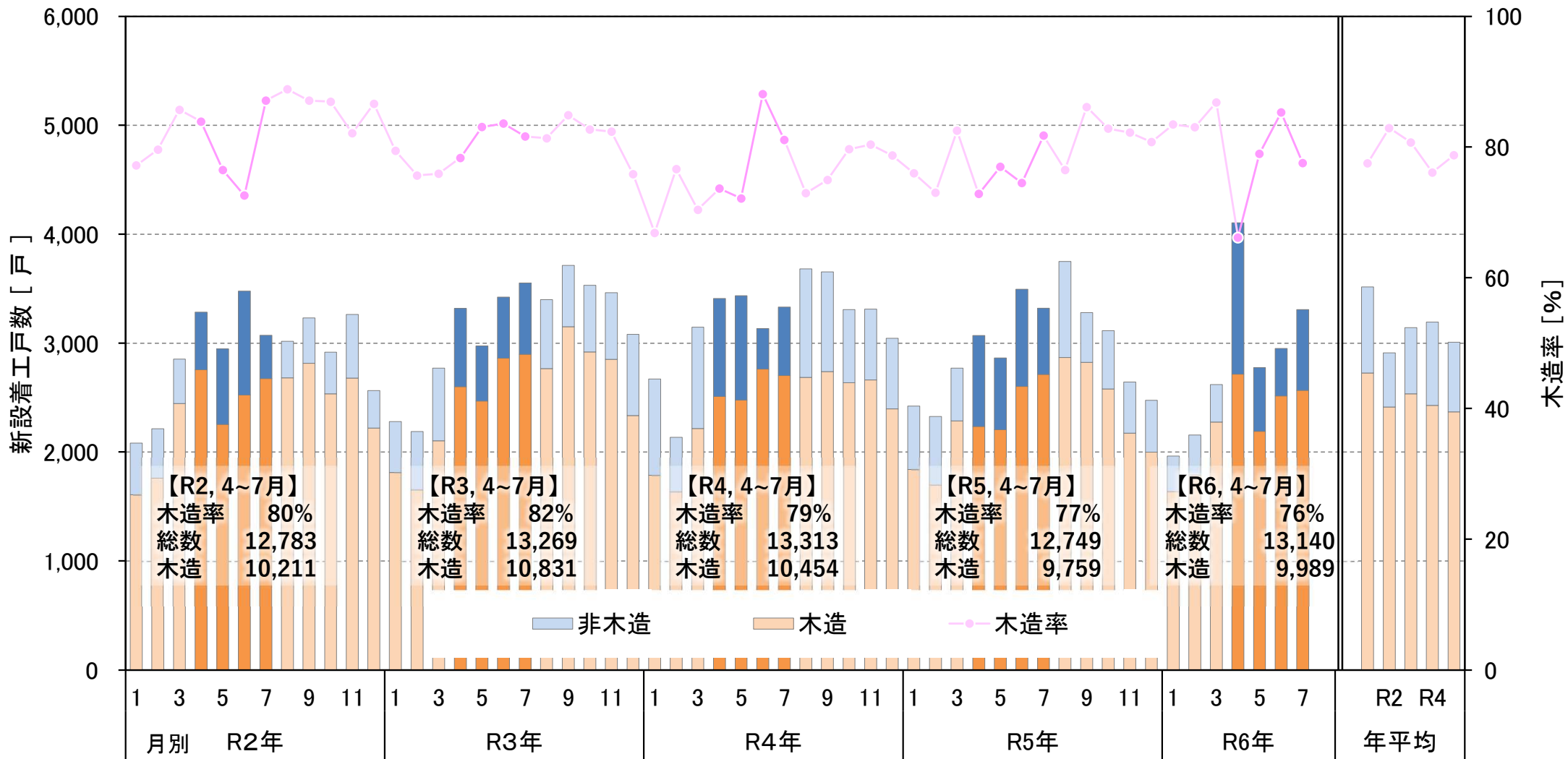
東北森林管理局管内の 木材需給及び木材価格等について

令和6年9月24日(火)

東北森林管理局

■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和6年7月)

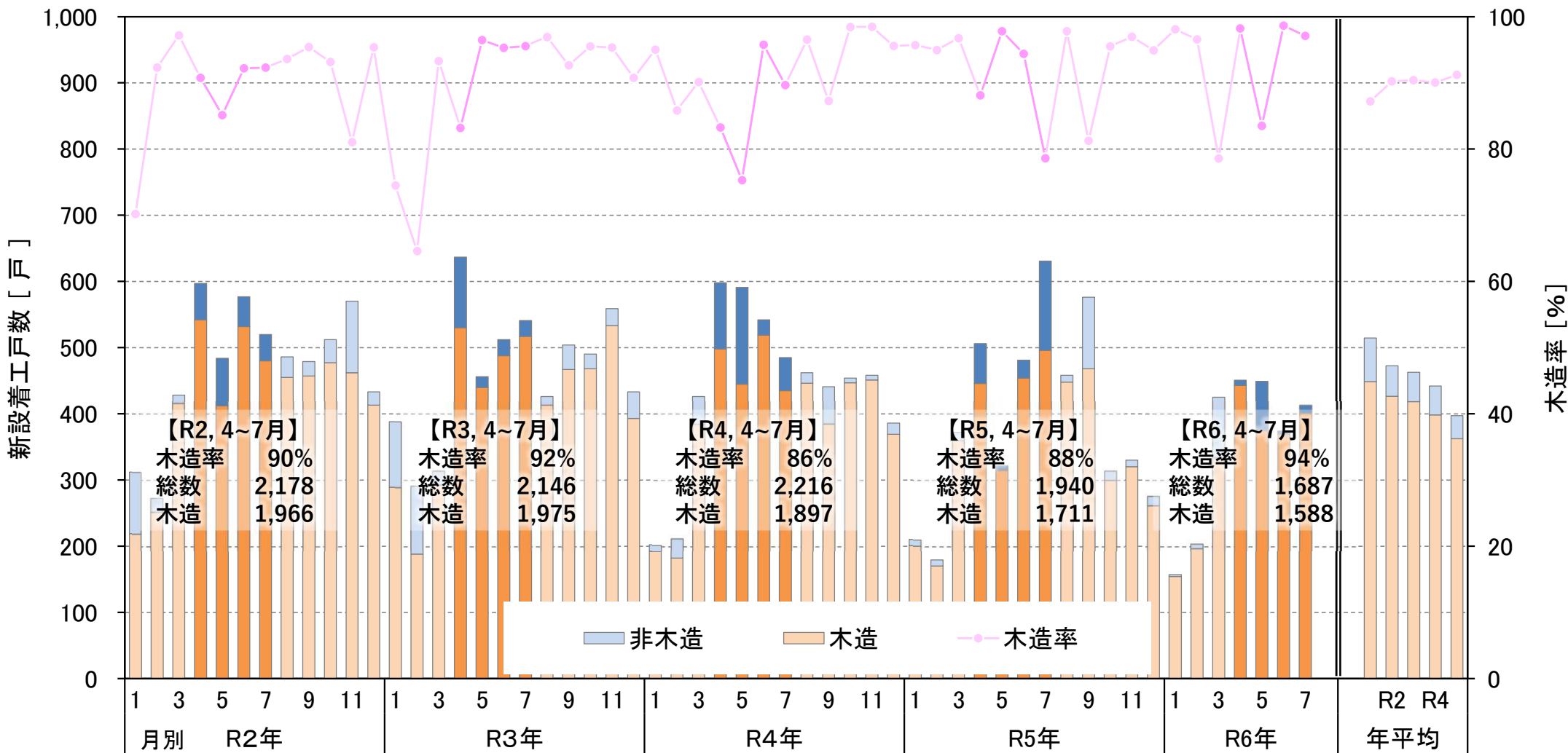
○ 東北5県の令和6年4～7月期の新設住宅着工数は、昨年同期より391戸(2.9%)増加した。
この期間の木造は昨年同期より230戸増加し、木造率は－1%であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

青森県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和6年7月)

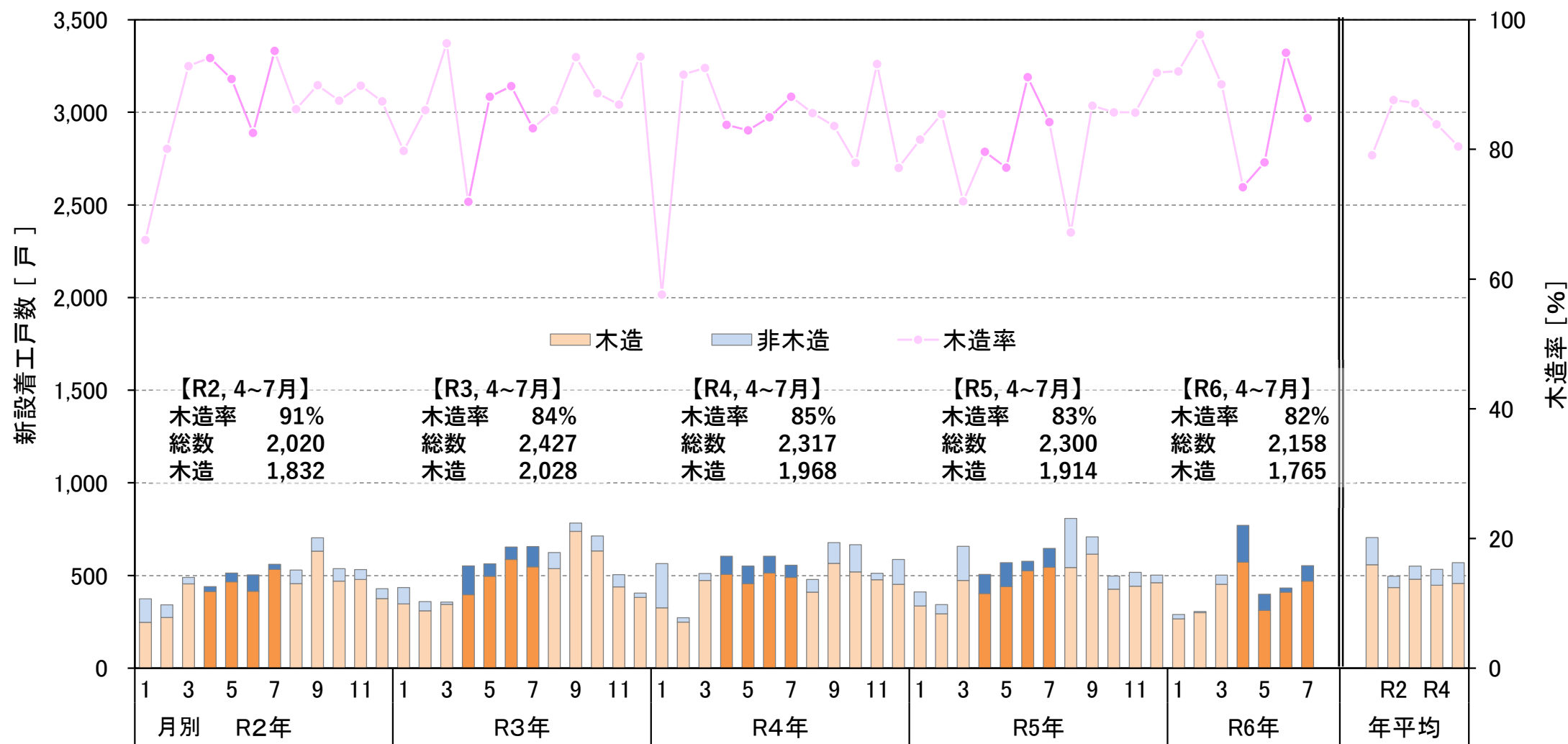
○ 青森県の令和6年4～7月期の新設住宅着工数は、昨年同期より253戸減少した。
この期間の木造は123戸減少し、木造率は6%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 岩手県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和6年7月)

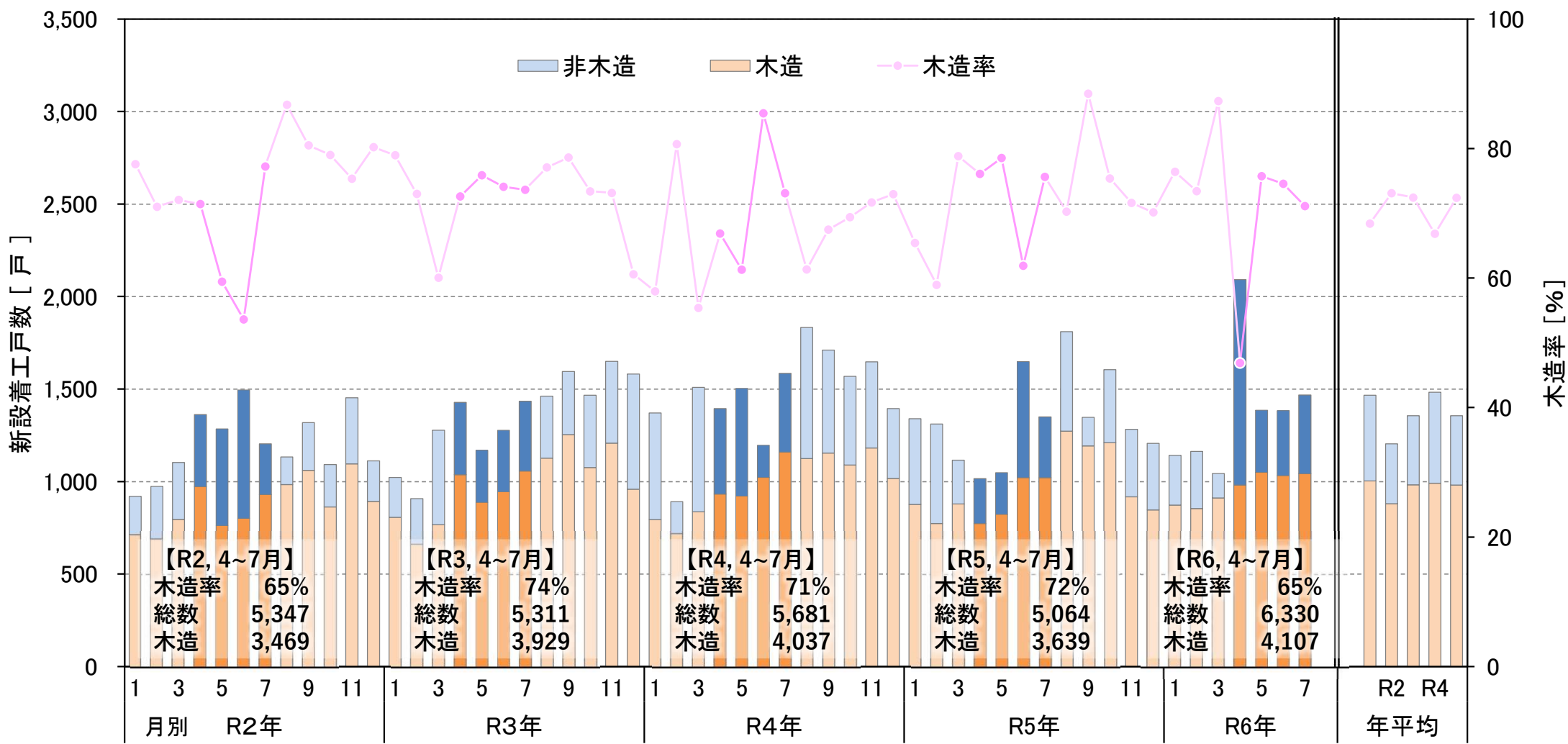
○ 岩手県の令和6年4～7月期の新設住宅着工数は、昨年同期より142戸減少した。
この期間の木造は149戸減少し、木造率は1%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

宮城県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和6年7月)

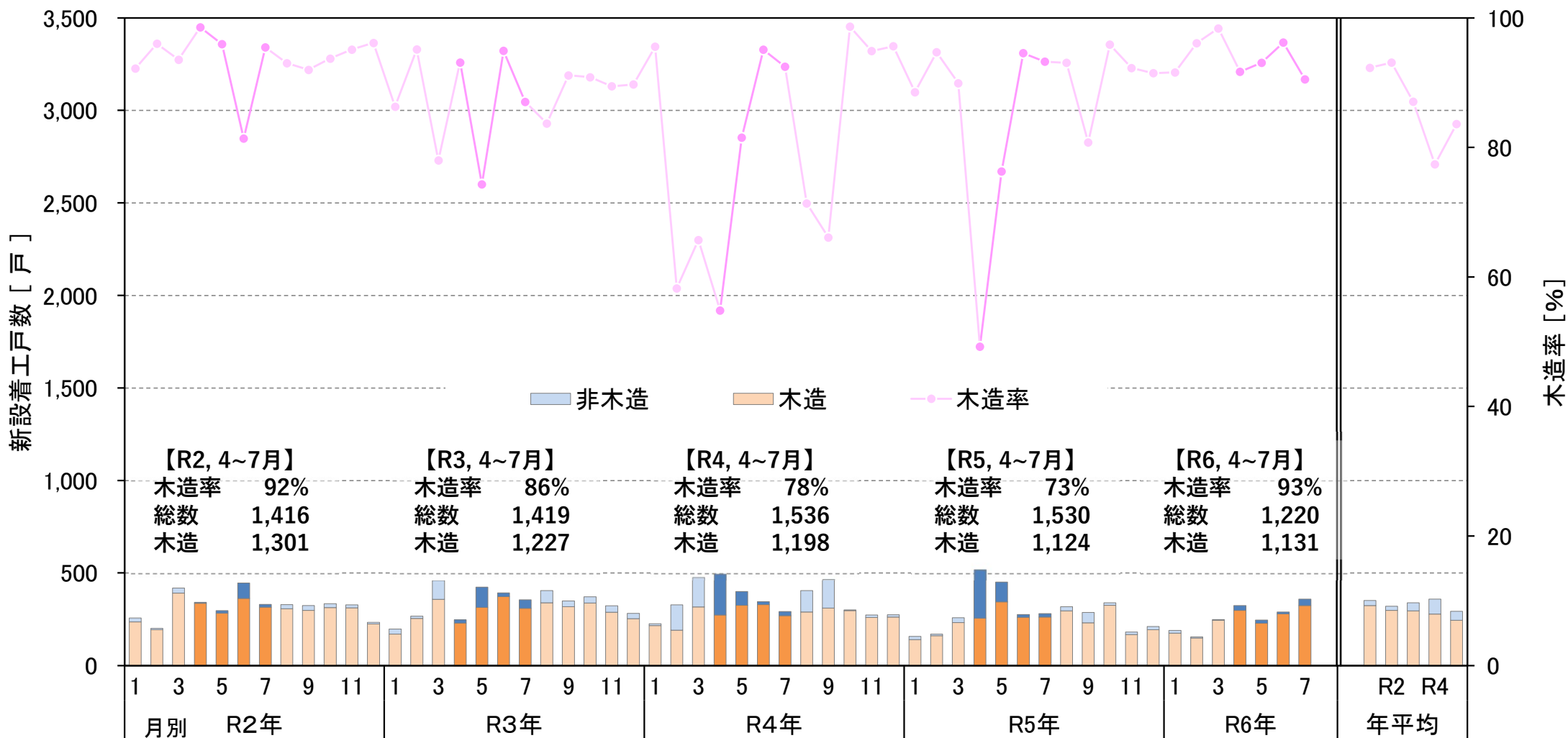
○ 宮城県の令和6年4～7月期の新設住宅着工数は、昨年同期より1,266戸増加した。
この期間の木造は468戸増加し、木造率は7%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 秋田県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和6年7月)

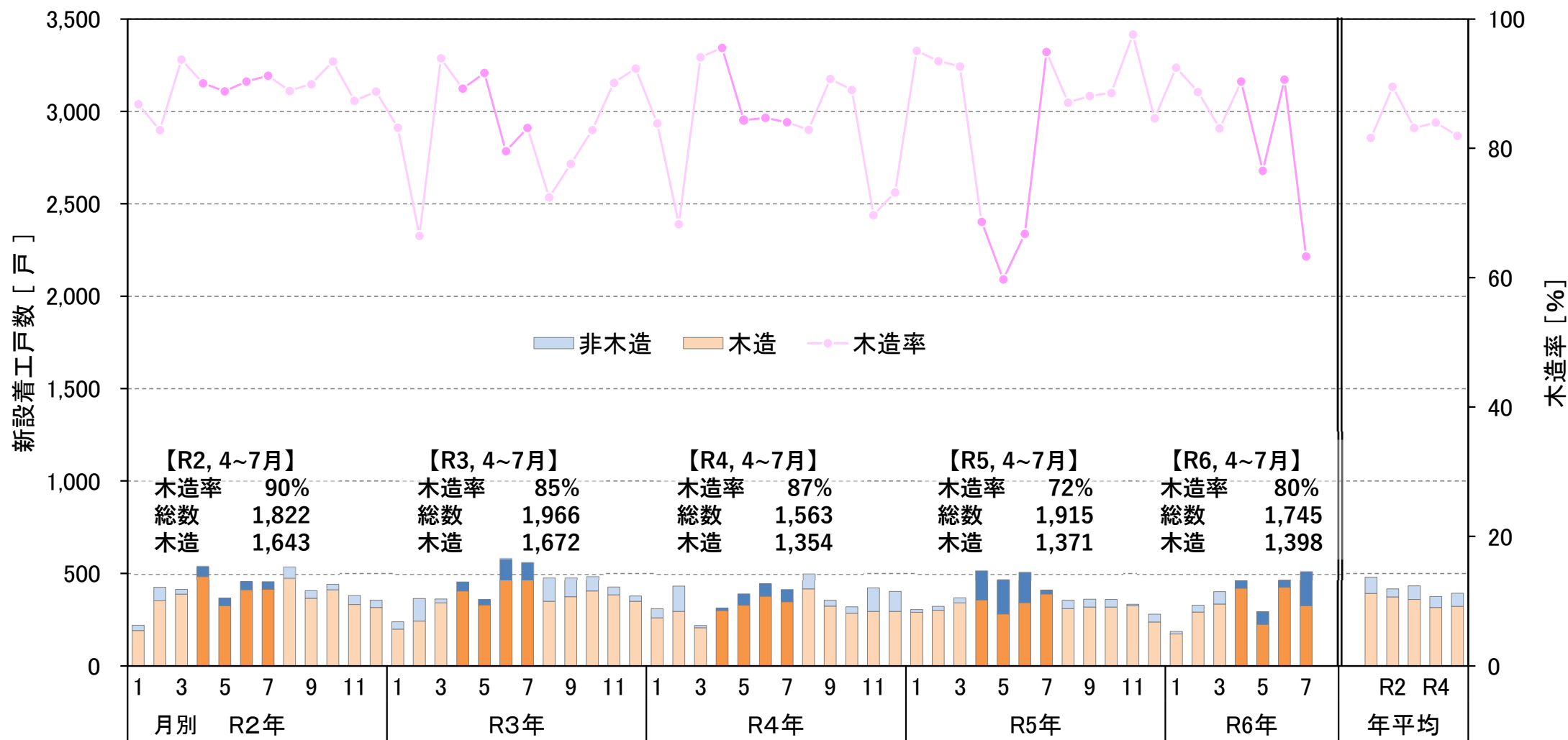
○ 秋田県の令和6年4～7月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より310戸減少した。
この期間の木造は7戸増加し、木造率は20%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

山形県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和6年7月)

○ 山形県の令和6年4～7月期の新設住宅着工数は、昨年同期より170戸減少した。
この期間の木造は27戸増加し、木造率は8%増加した。

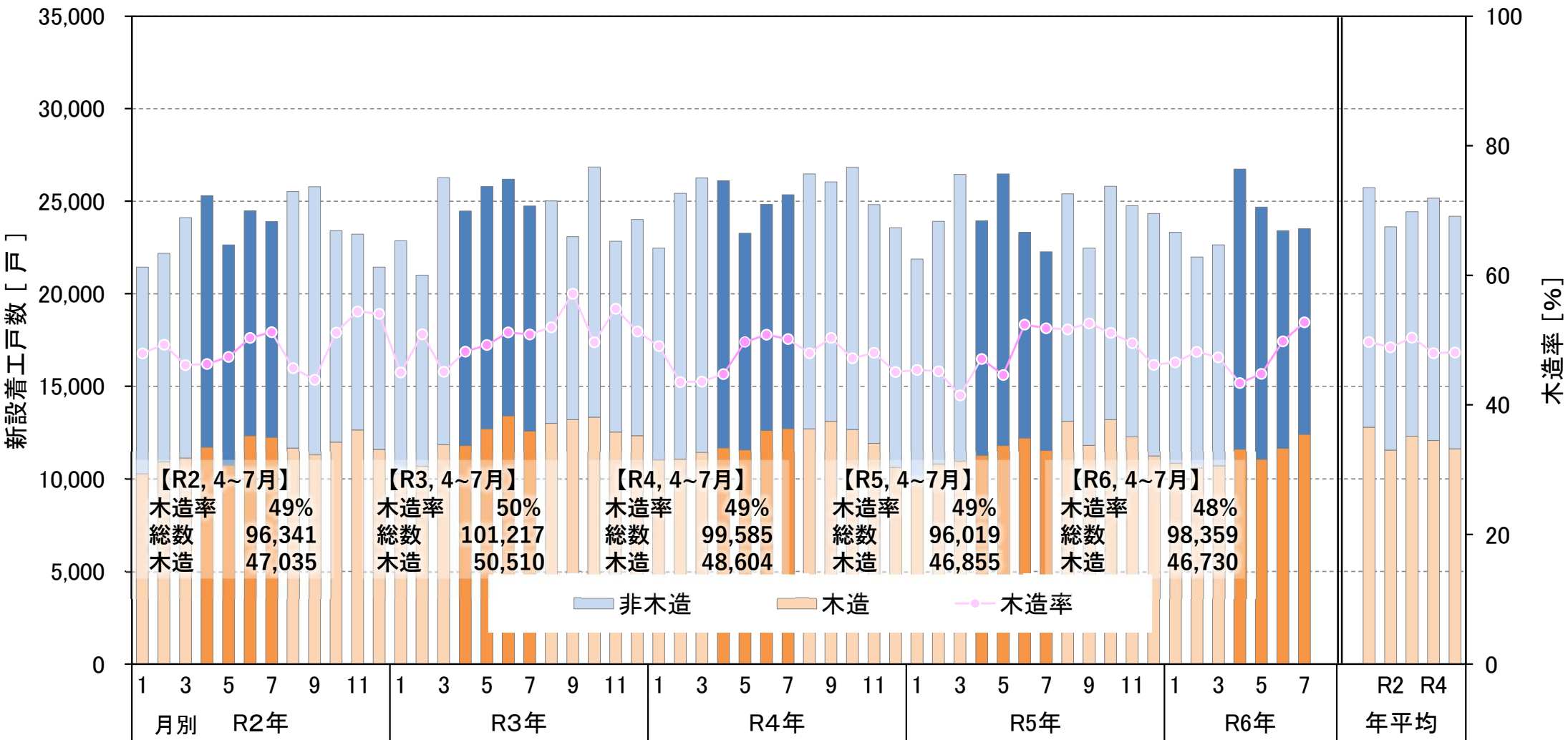


出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和6年7月)

○ 関東主要都市の令和6年4～7月期の新設住宅着工数は、昨年同期より2,340戸(2.3%)増加した。
この期間の木造は125戸減少し、木造率は1%減少した。

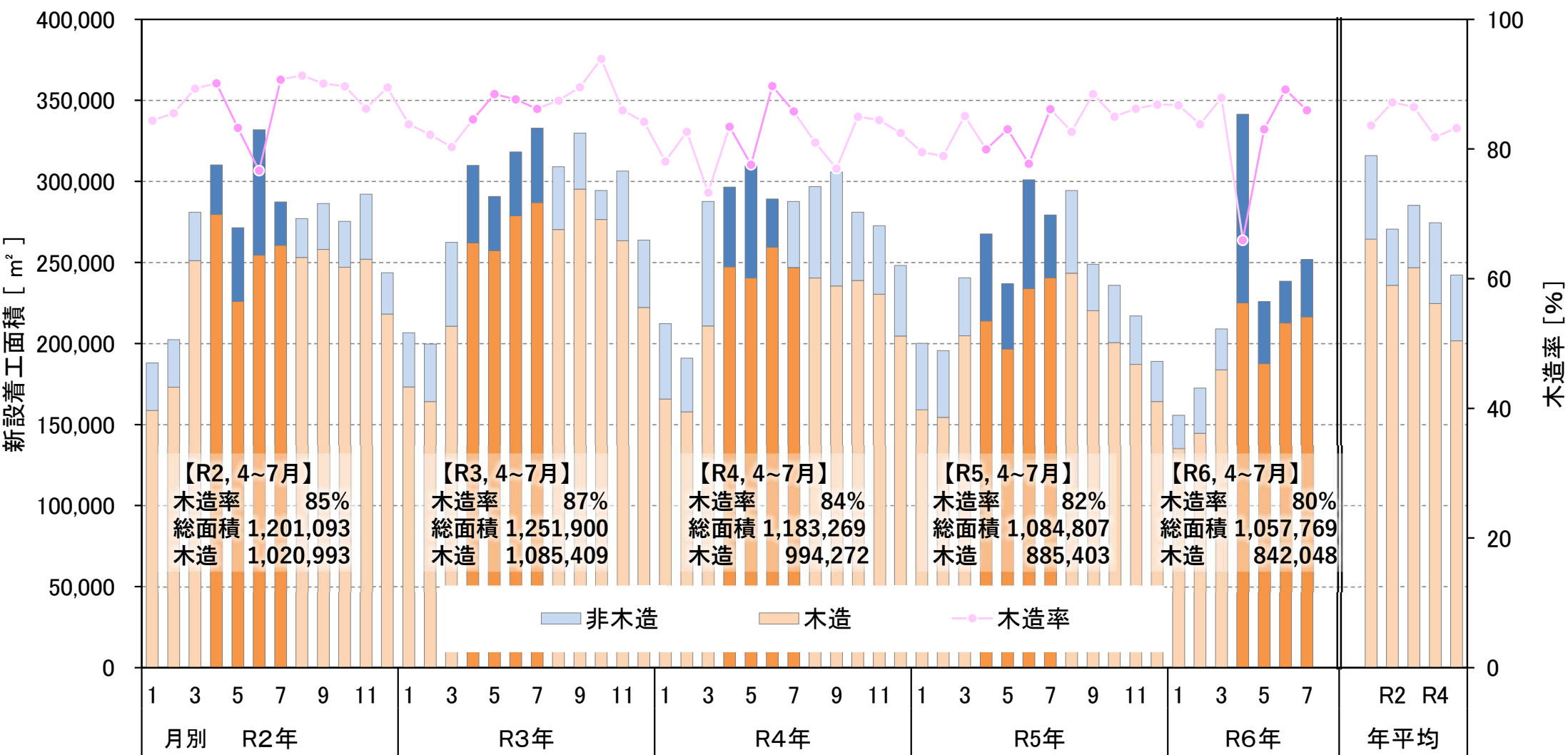
埼玉、千葉、東京、神奈川



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年7月)

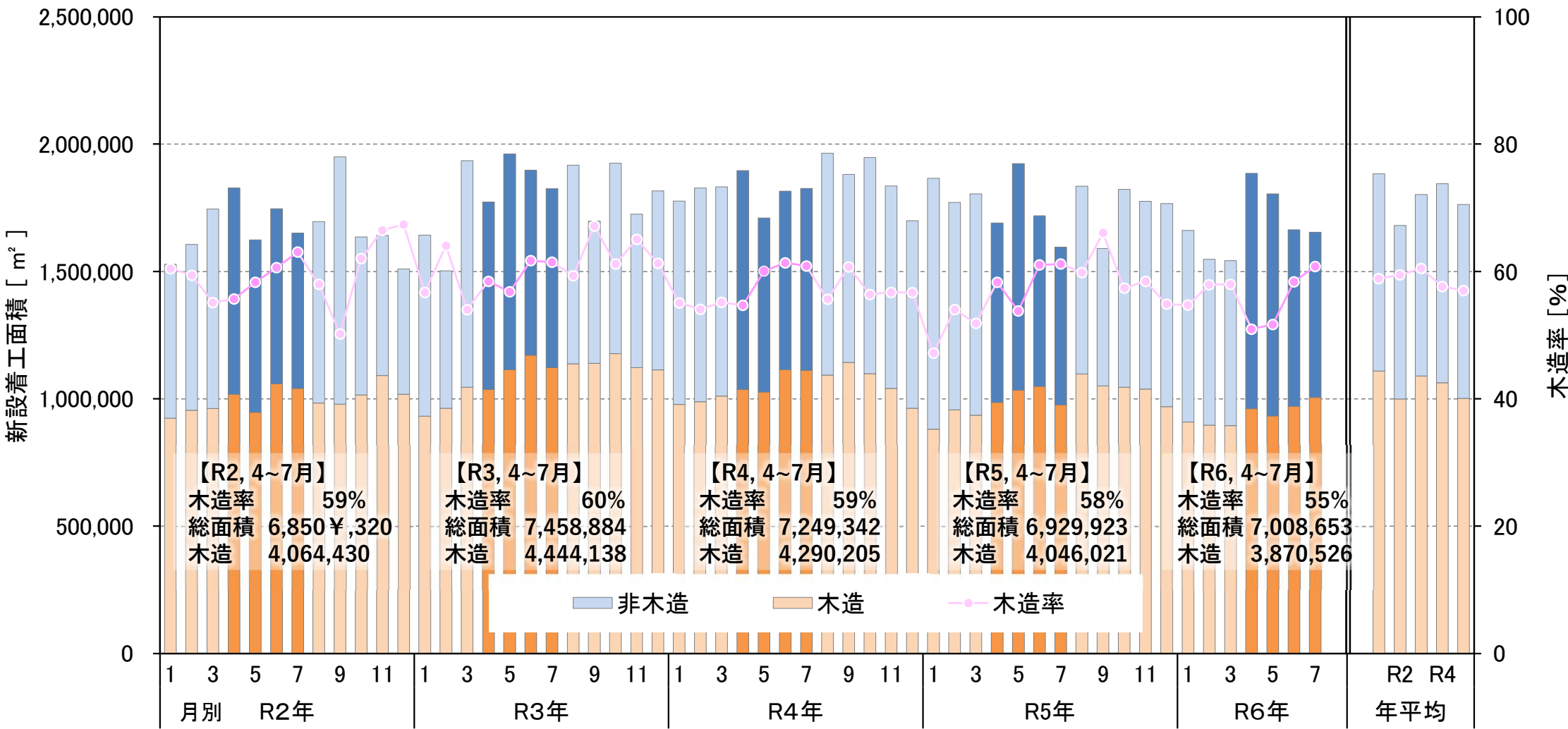
○ 東北5県の令和6年4～7月期の新設住宅着工面積は、昨年同期より27,038m²(2.5%)減少した。
この期間の木造は昨年同期より43,355m²減少し、木造率は2%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年7月)

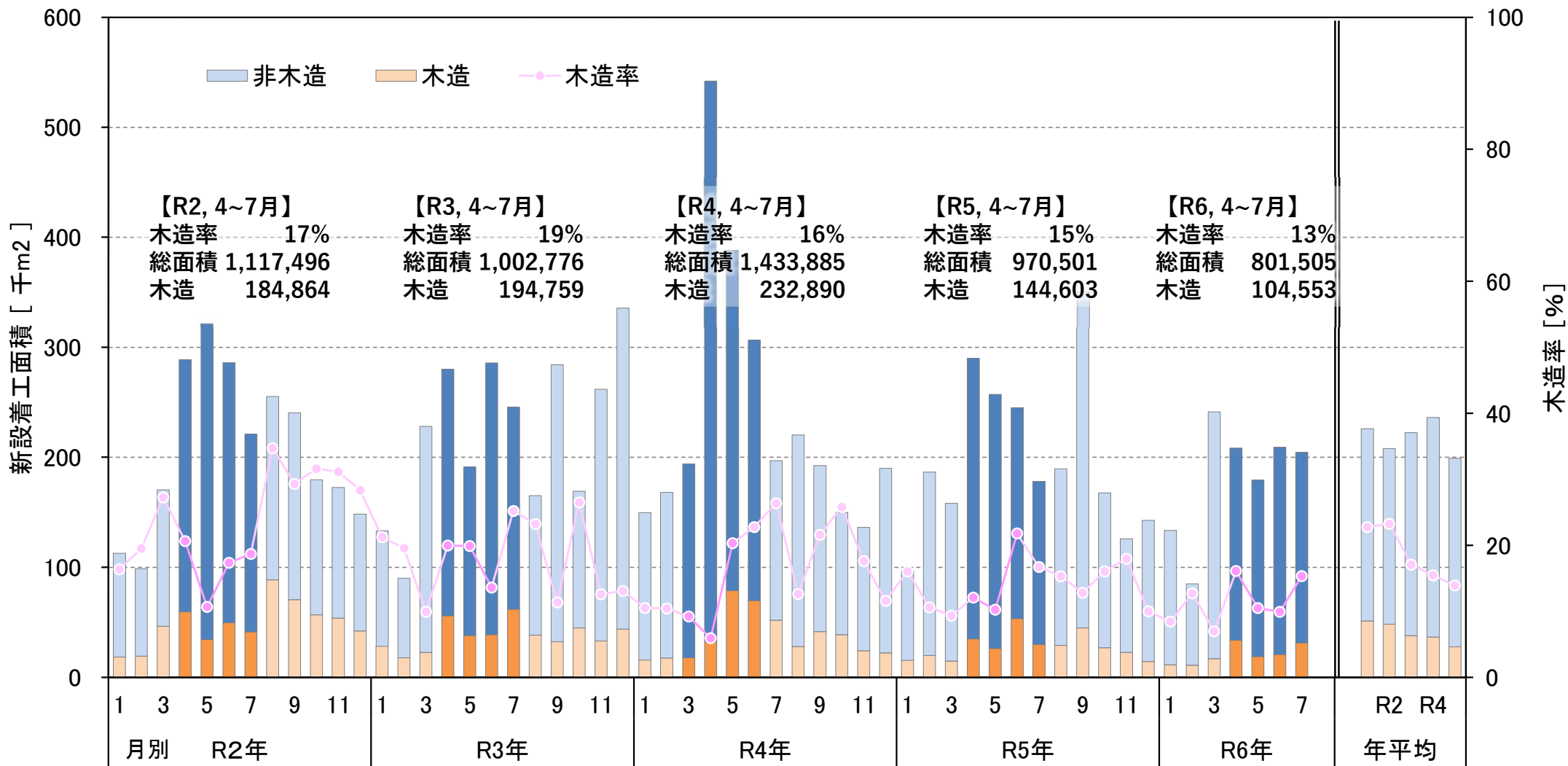
○ 関東主要都市の令和6年4～7月期の新設住宅着工面積は、昨年同期より78,730m²(1.1%)増加した。
この期間の木造は175,495m²減少し、木造率は3%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 東北森林管理局管内5県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年7月)

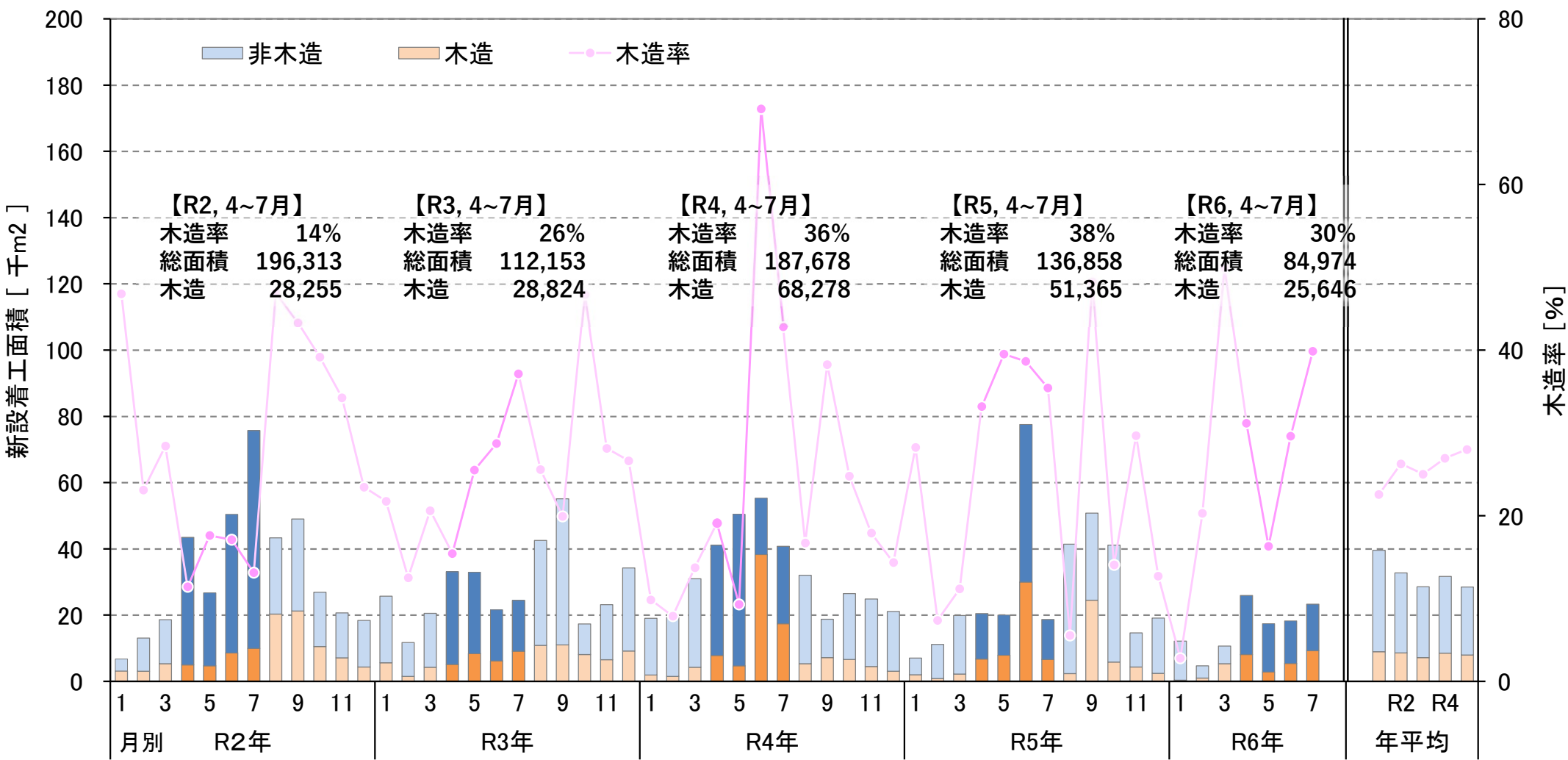
○ 東北5県の令和6年4～7月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より168,996減少した。
この期間の木造は昨年同期より40,050㎡減少し、木造率は2%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

青森県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年7月)

○ 青森県の令和6年4～7月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より51,884㎡減少した。この期間の木造は25,719㎡減少し、木造率8%減少した。

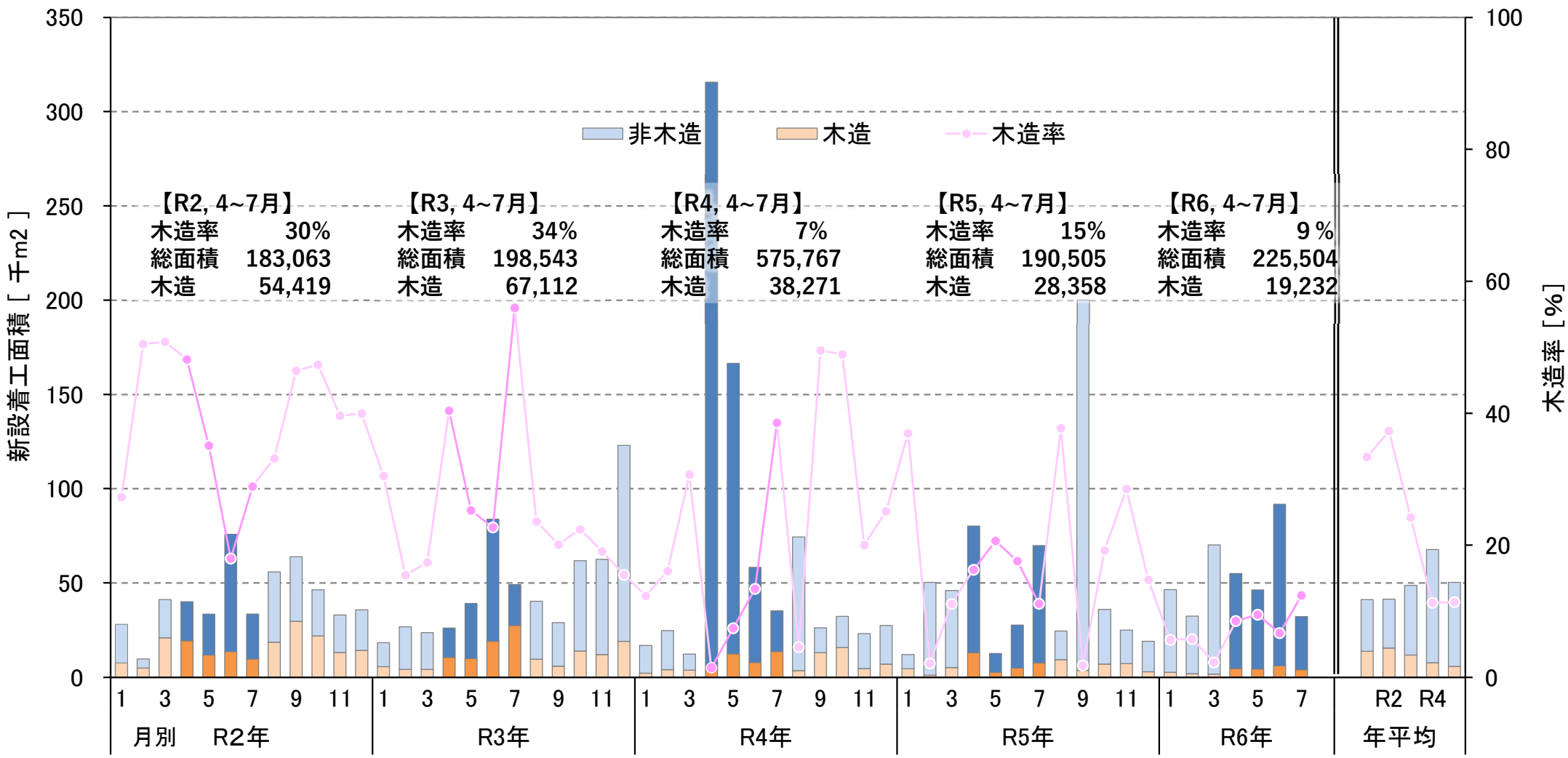


出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 岩手県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年7月)

○ 岩手県の令和6年4～7月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より34,999㎡増加した。この期間の木造は9,126㎡減少し、木造率は6%減少した。

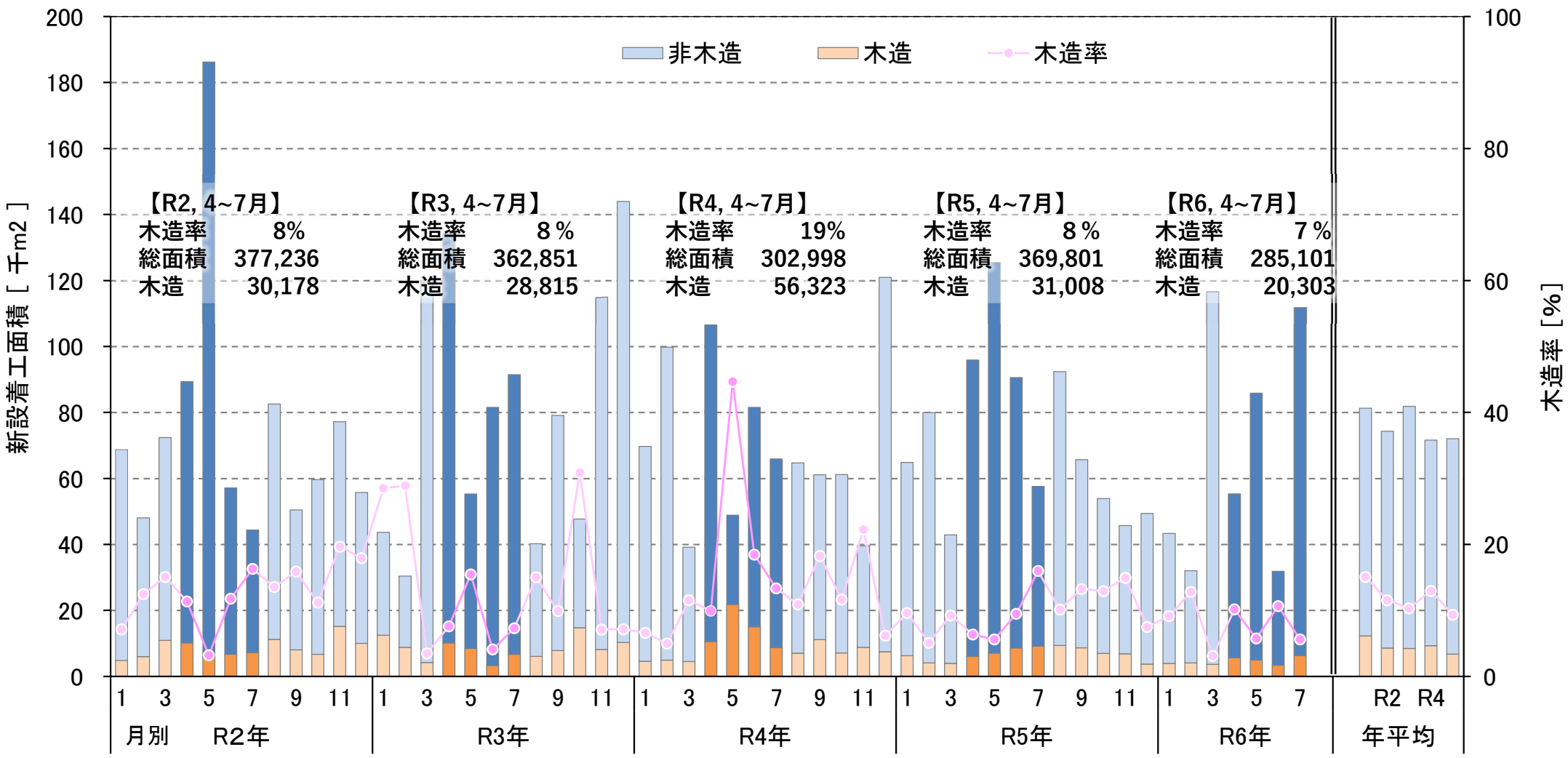
岩手県



出典：国土交通省「住宅着工統計」

宮城県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年7月)

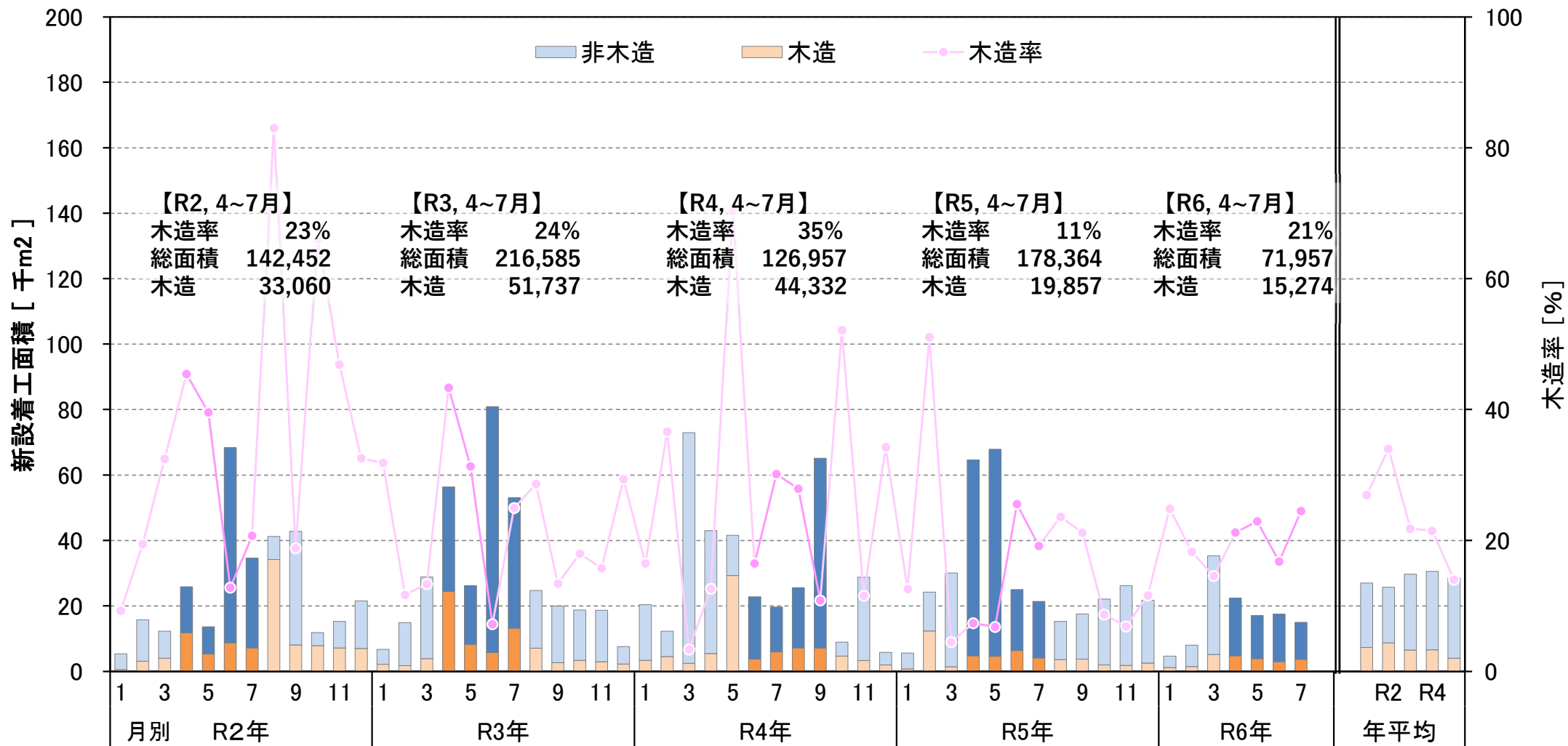
○ 宮城県の令和6年4～7月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より84,700㎡減少した。この期間の木造は10,705㎡減少し、木造率は1%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 秋田県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年7月)

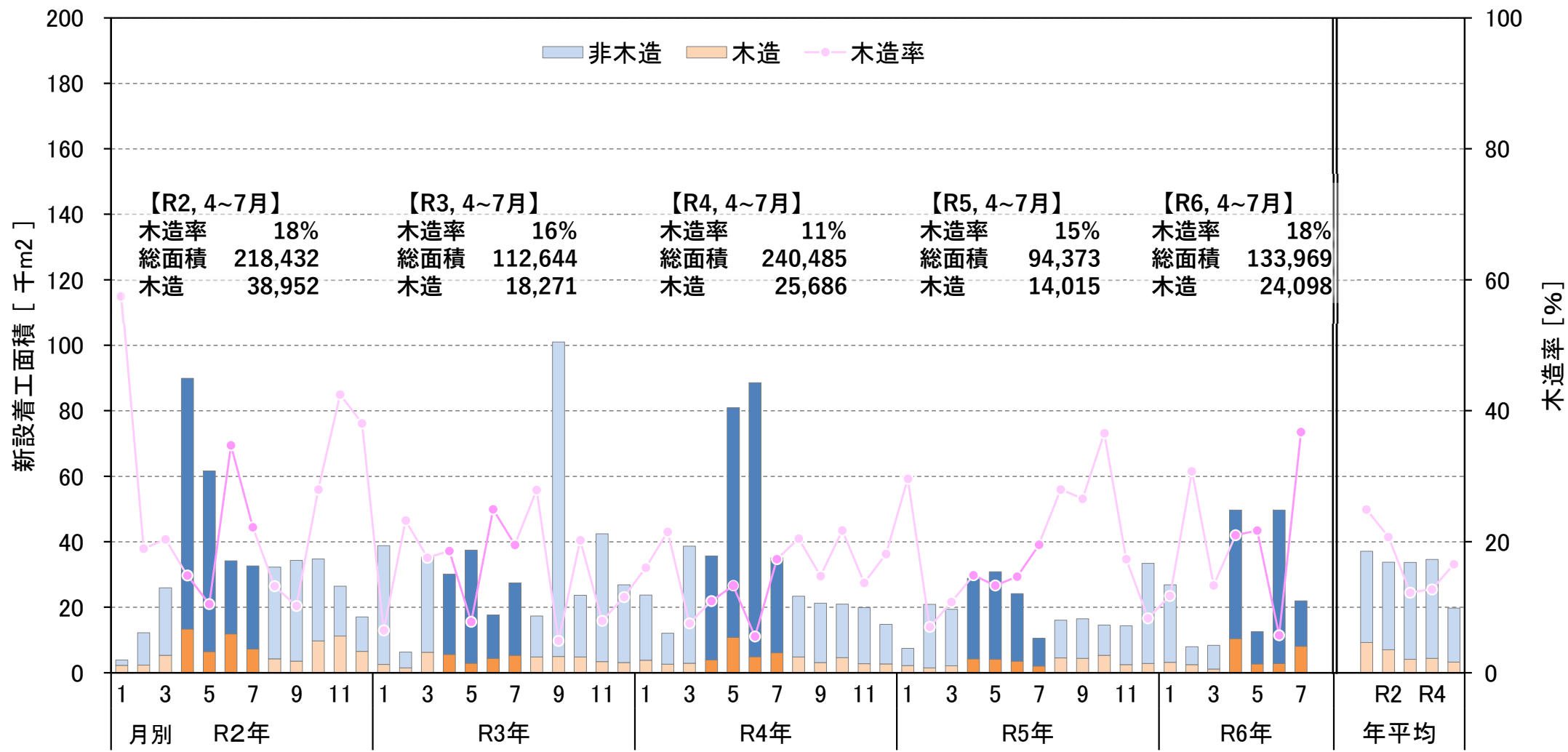
○ 秋田県の令和6年4～7月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より107,007㎡減少した。この期間の木造は4,583㎡減少し、木造率は10%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

山形県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年7月)

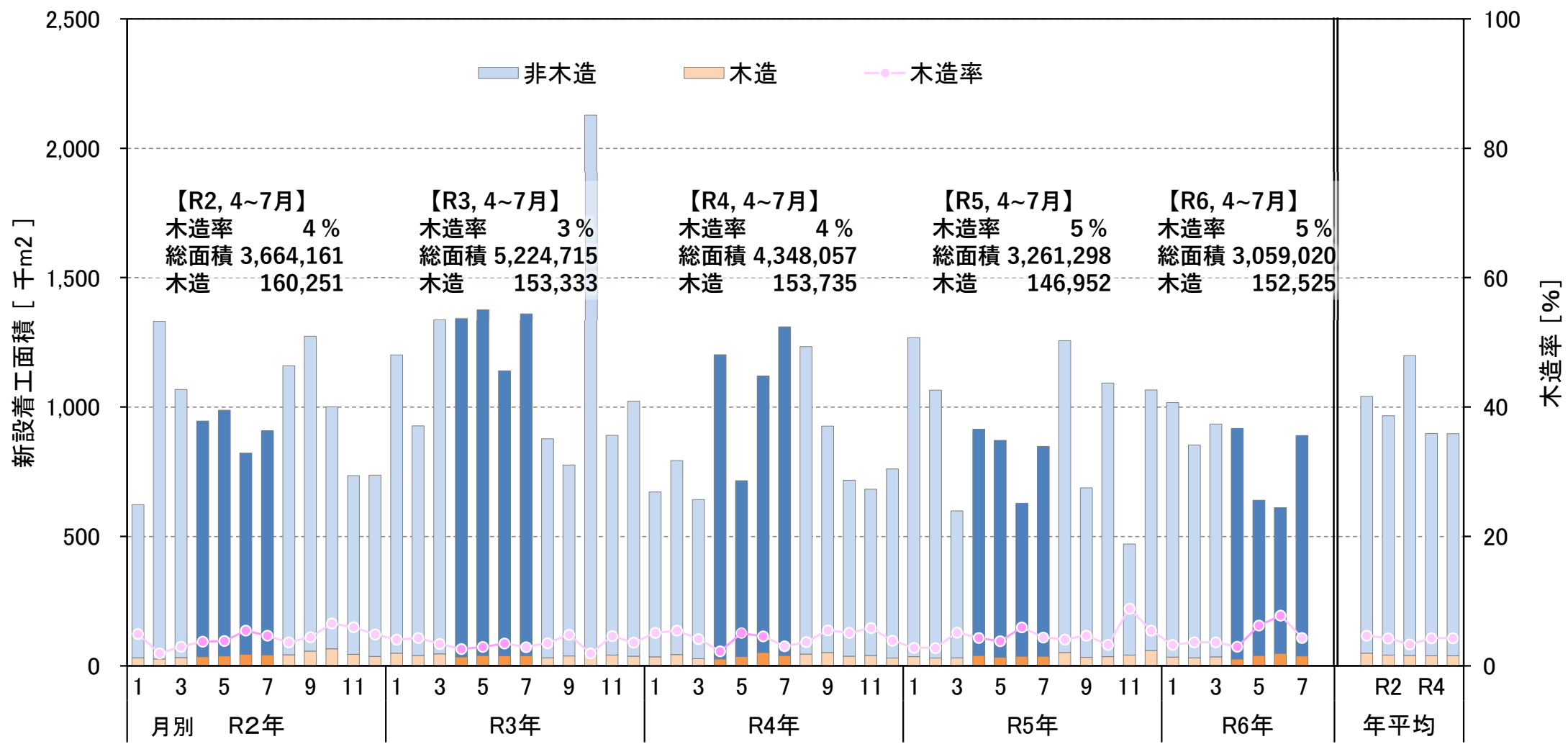
○ 山形県の令和6年4～7月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より39,596㎡増加した。この期間の木造は10,083㎡増加し、木造率は3%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年7月)

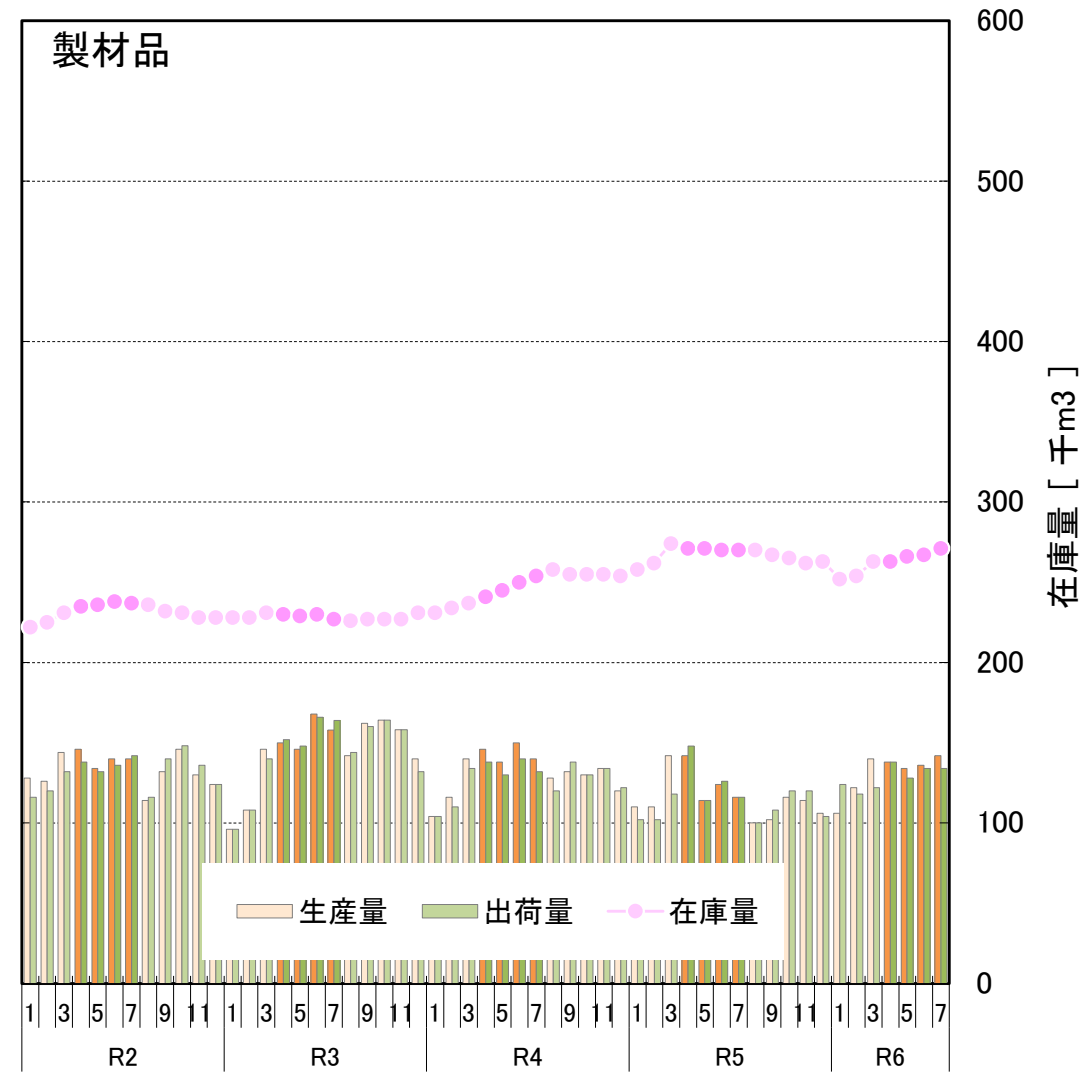
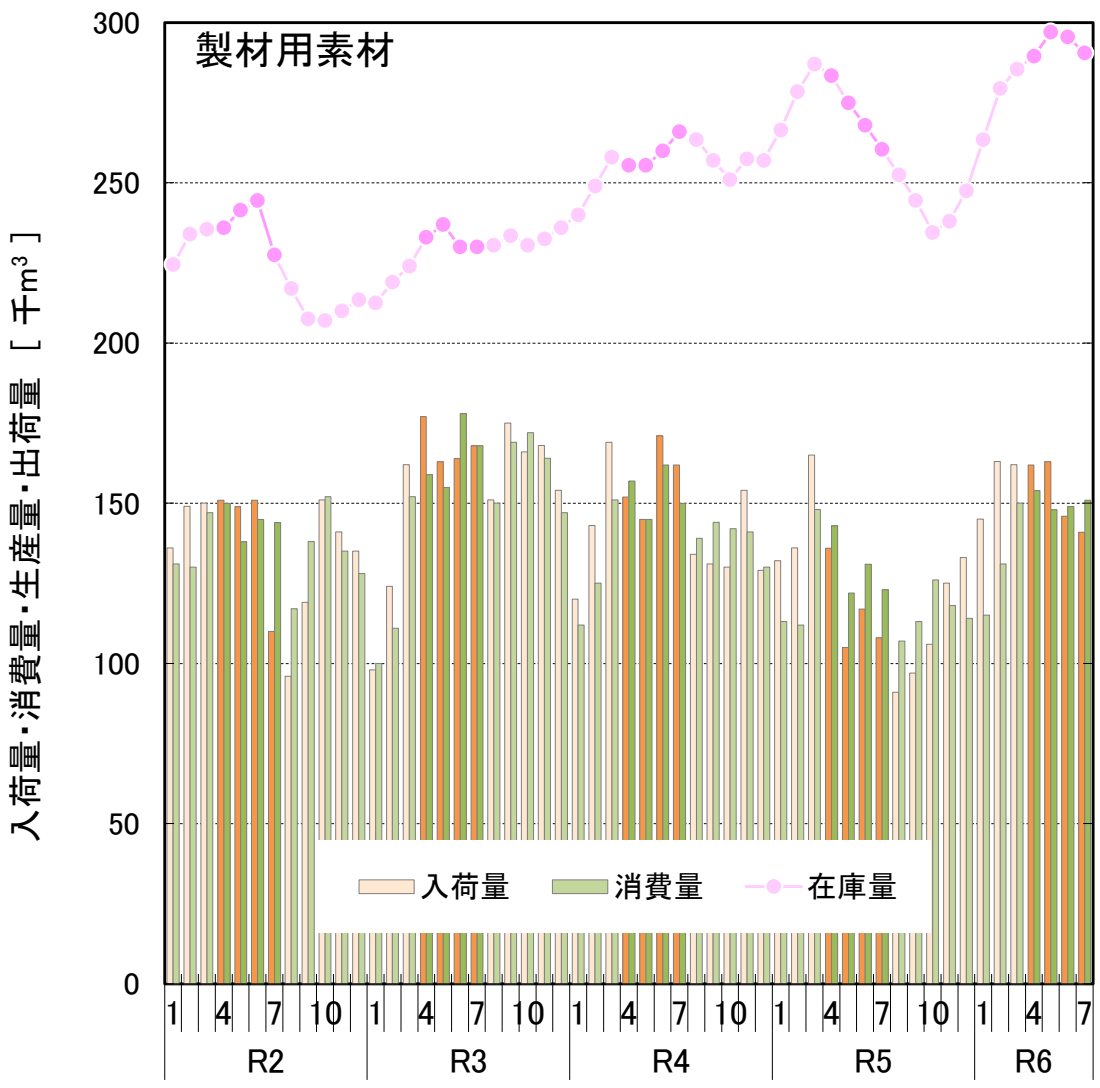
○ 関東主要都市の令和6年4～7月期の新設住宅着工数は、昨年同期より202,278㎡減少した。
この期間の木造は5,573㎡増加し、木造率は±0%だった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 東北5県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年7月）

- 東北5県の製材用素材の令和6年4～7月の入荷量は昨年同期比+31%、消費量は+16%、在庫量は7月比+12%。
- 製材品の令和6年4～7月の生産量は昨年同期比+11%、出荷量は+6%、在庫量は7月比+0.4%。

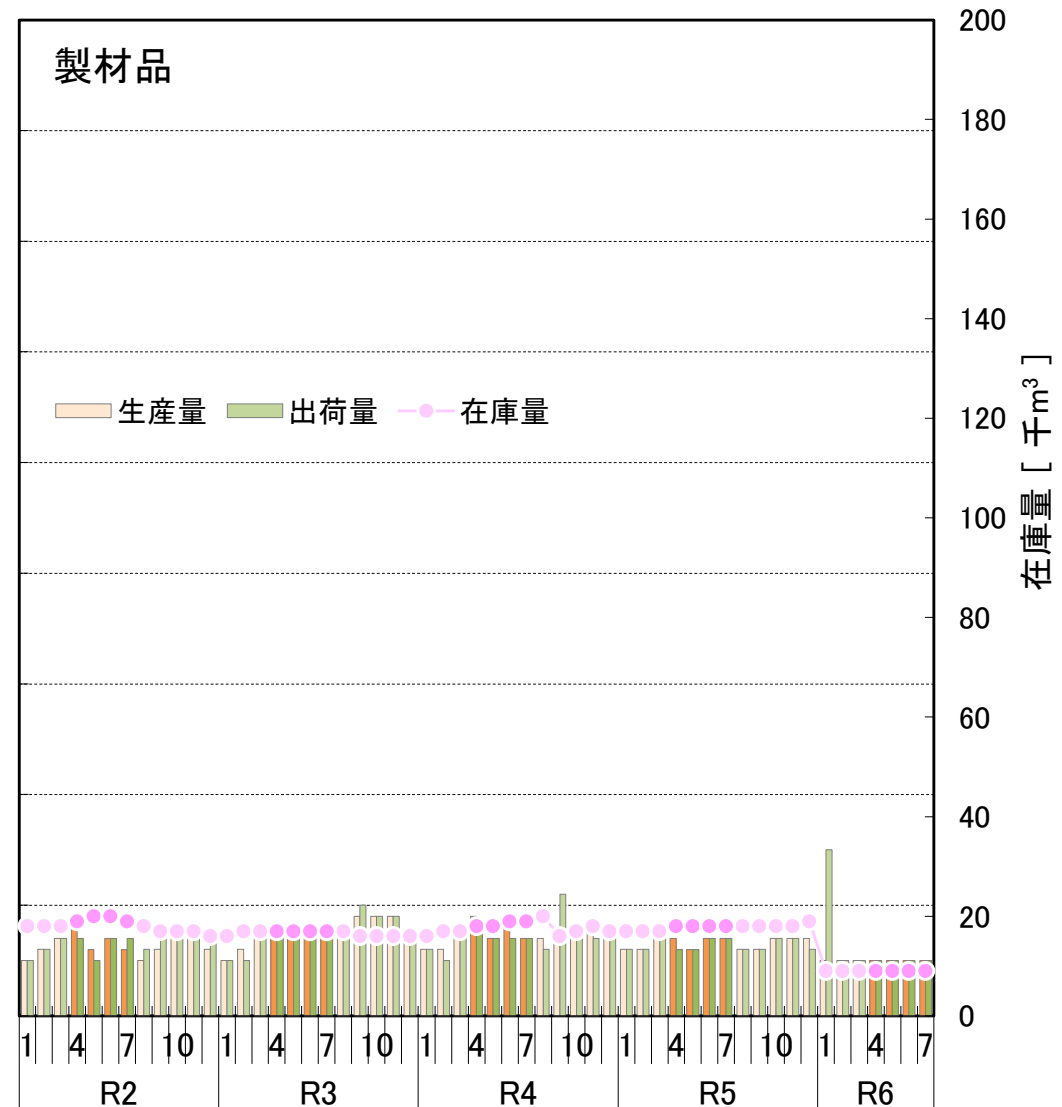
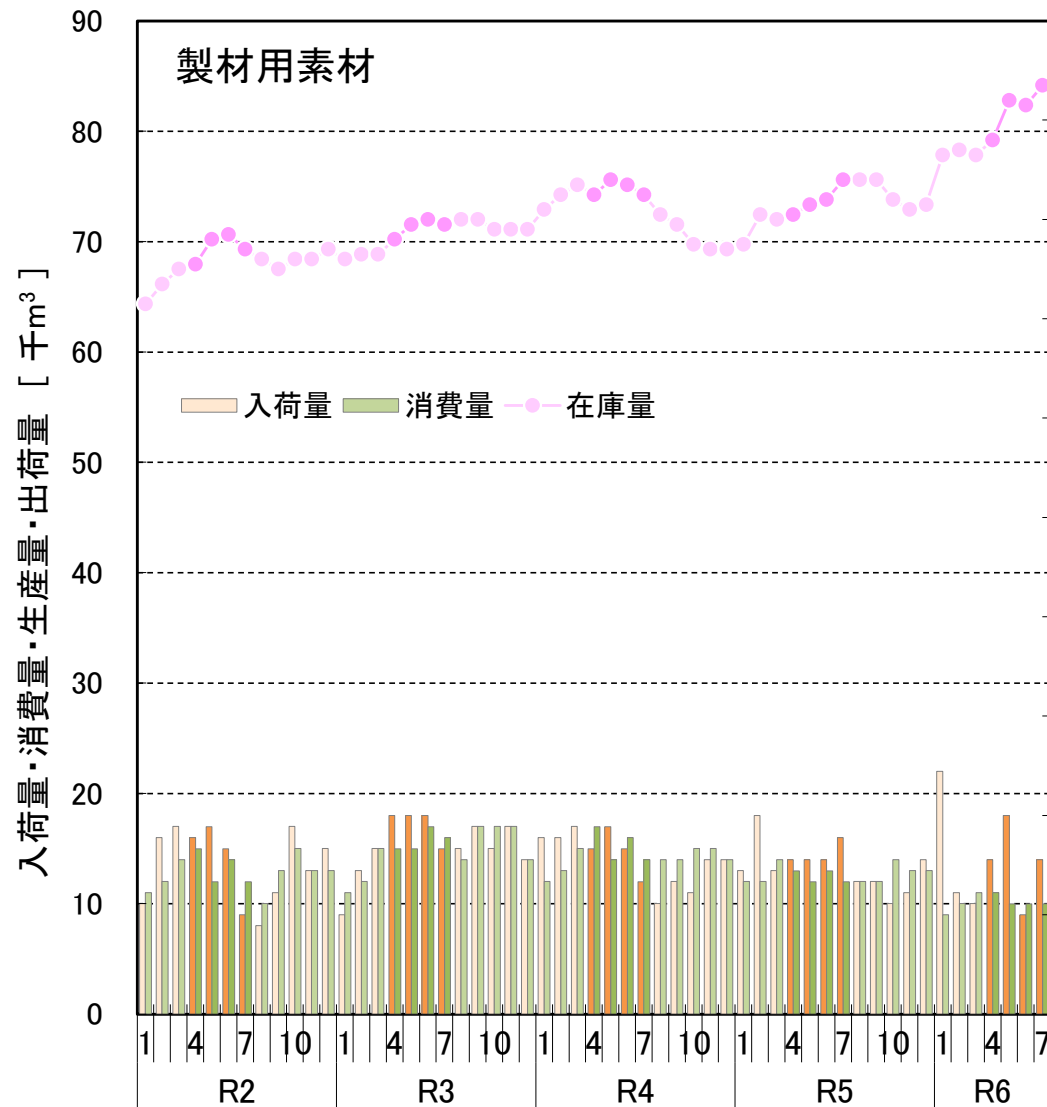


出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値である。

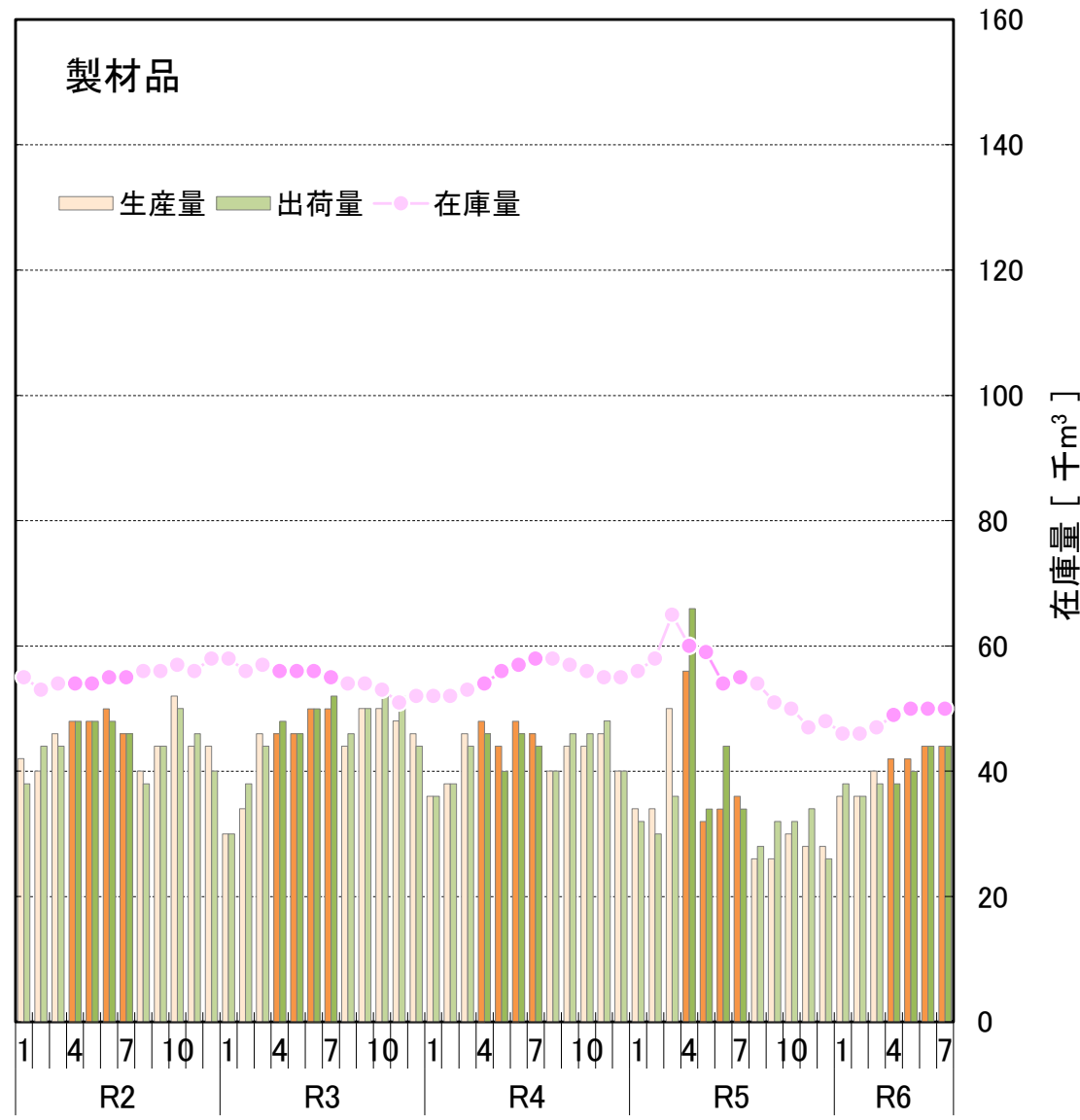
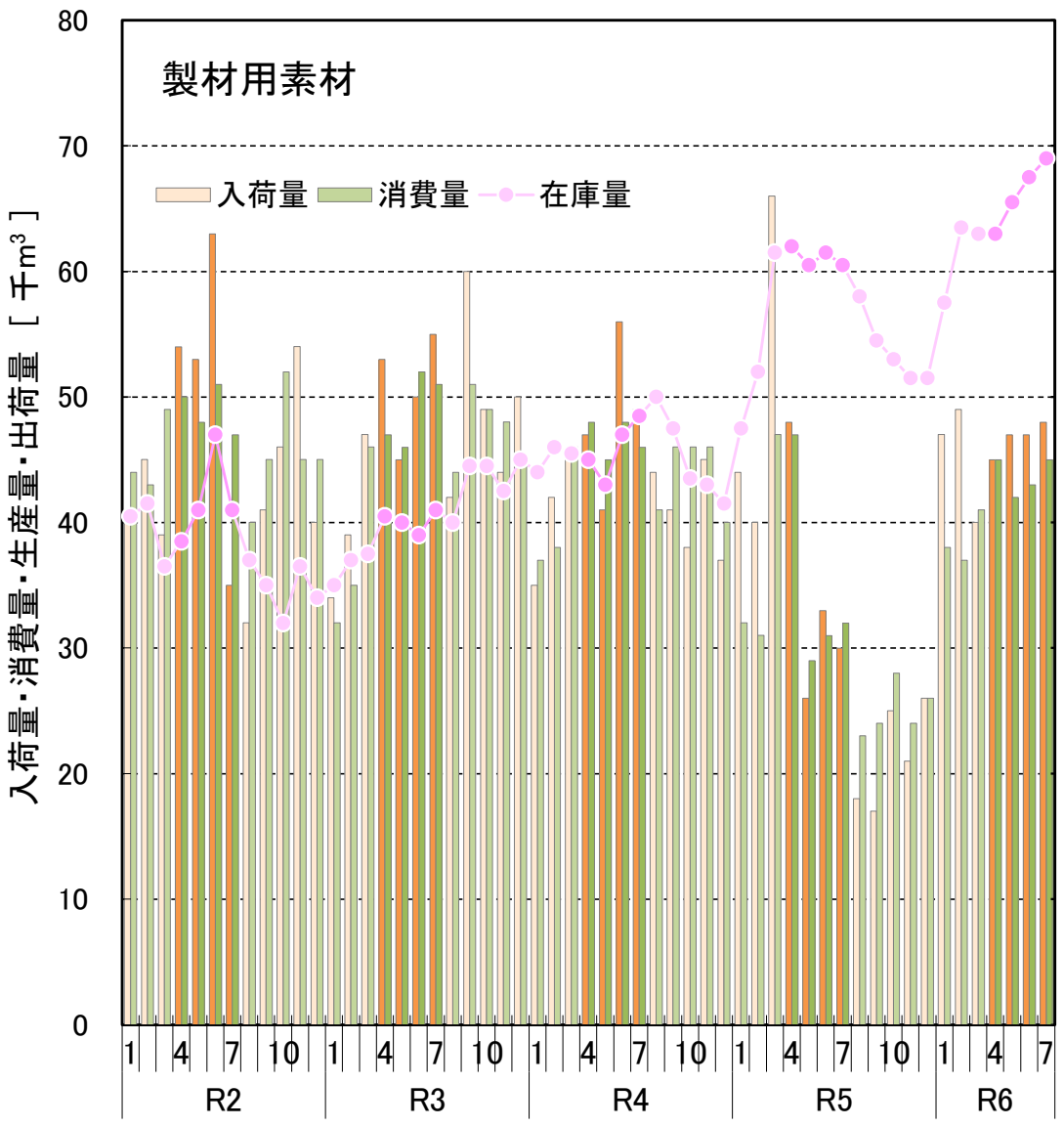
■ 青森県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年7月）

- 製材用素材の令和6年4～7月の入荷量は昨年同期比－5%、消費量は－18%、在庫量は7月比＋11%。
- 製材品の令和6年4～7月の生産量は昨年同期比－26%、出荷量は－23%、在庫量は7月比－50%。



岩手県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年7月）

○ 製材用素材の令和6年4～7月の入荷量は去年同期比+36%、消費量は+26%、在庫量は7月比+14%。
 ○ 製材品の令和6年4～7月の生産量は去年同期比+9%、出荷量は-7%、在庫量は7月比-9%。

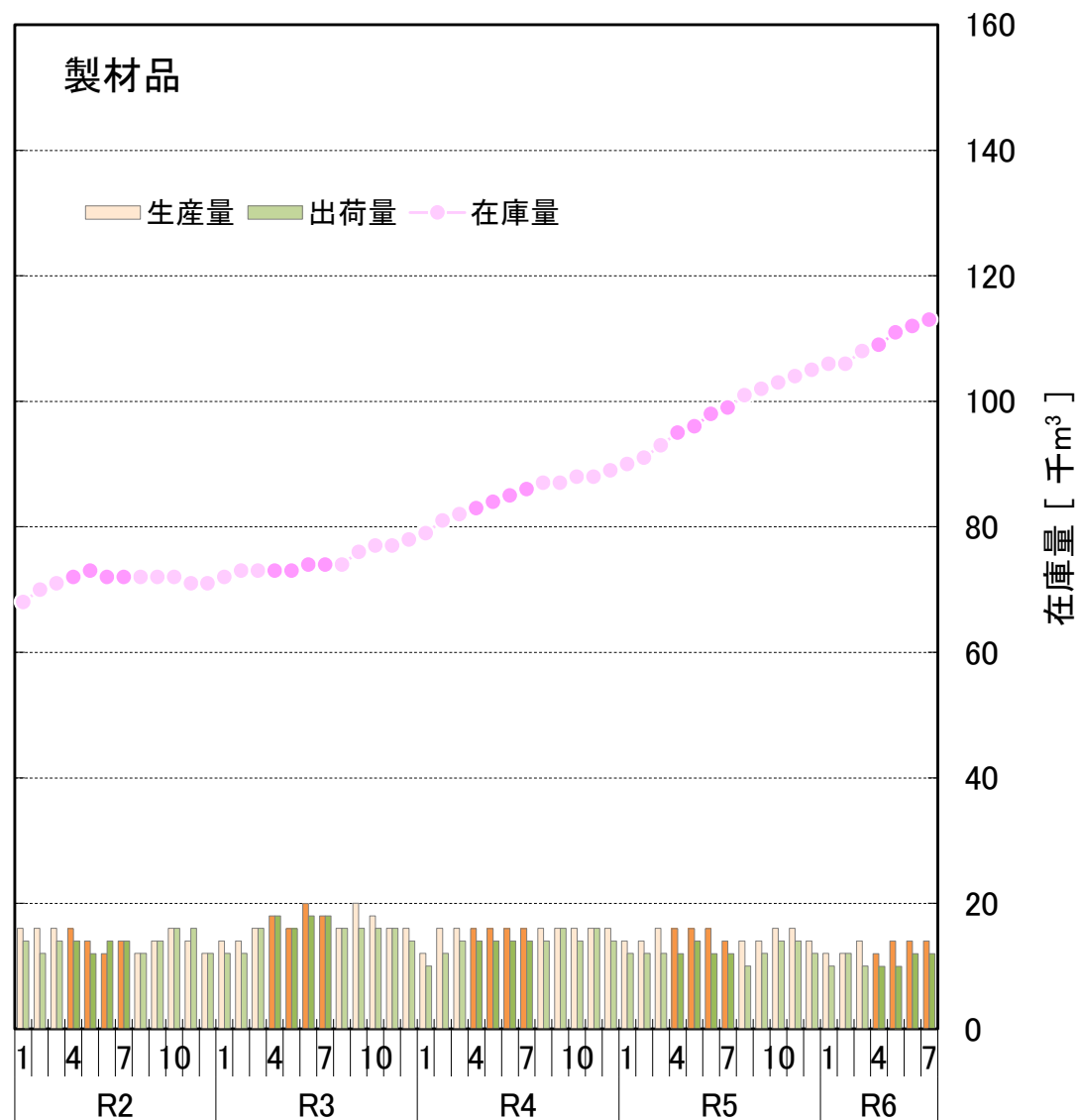
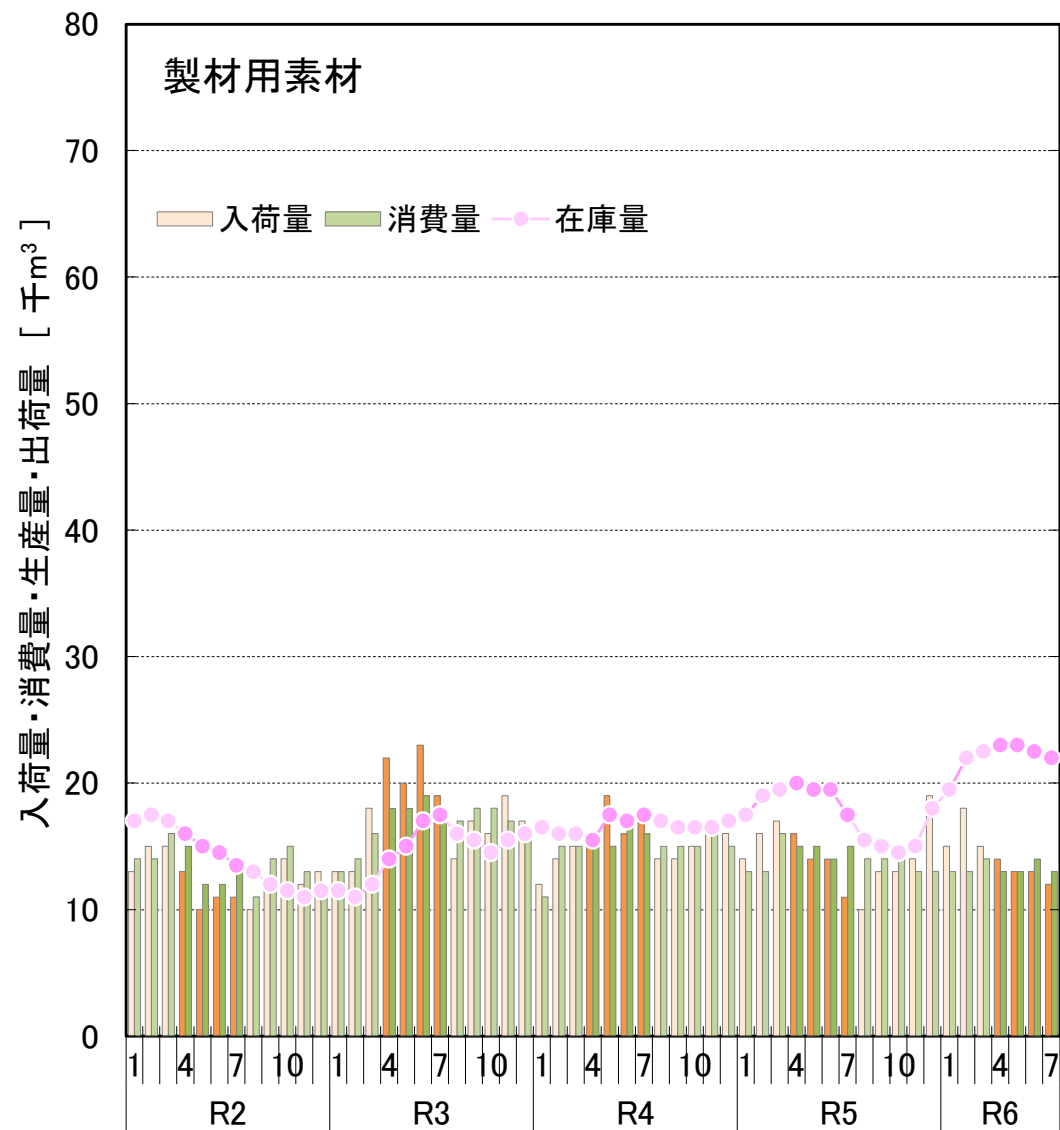


出典：農林水産省「木材需給報告書」製材統計

※ 国産材と外材の合計値である。

■ 宮城県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年7月）

- 製材用素材の令和6年4～7月の入荷量は昨年同期比－5%、消費量は－10%、在庫量は7月比＋26%。
- 製材品の令和6年4～7月の入荷量は昨年同期比－13%、消費量は－12%、在庫量は7月比＋14%。

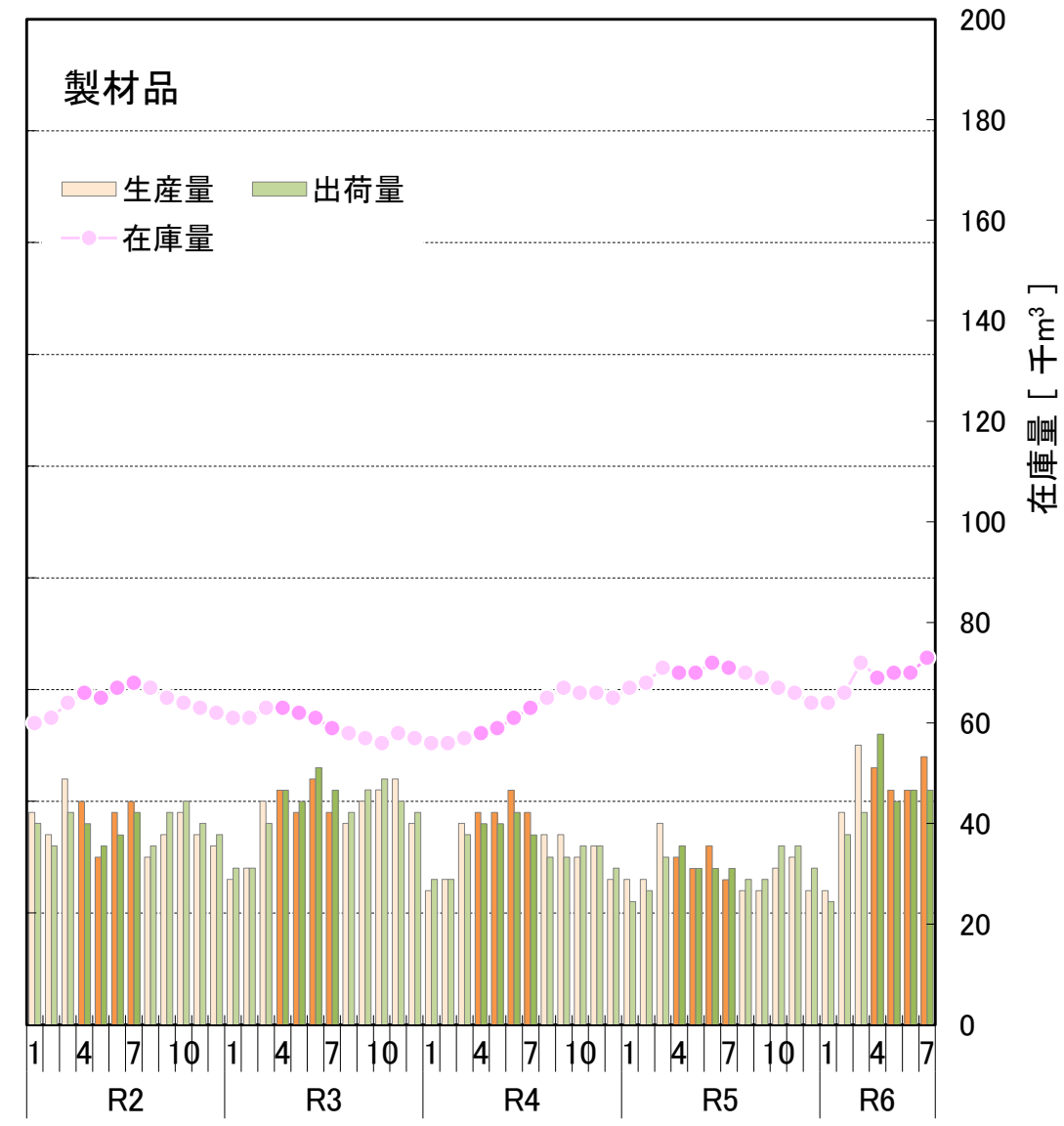
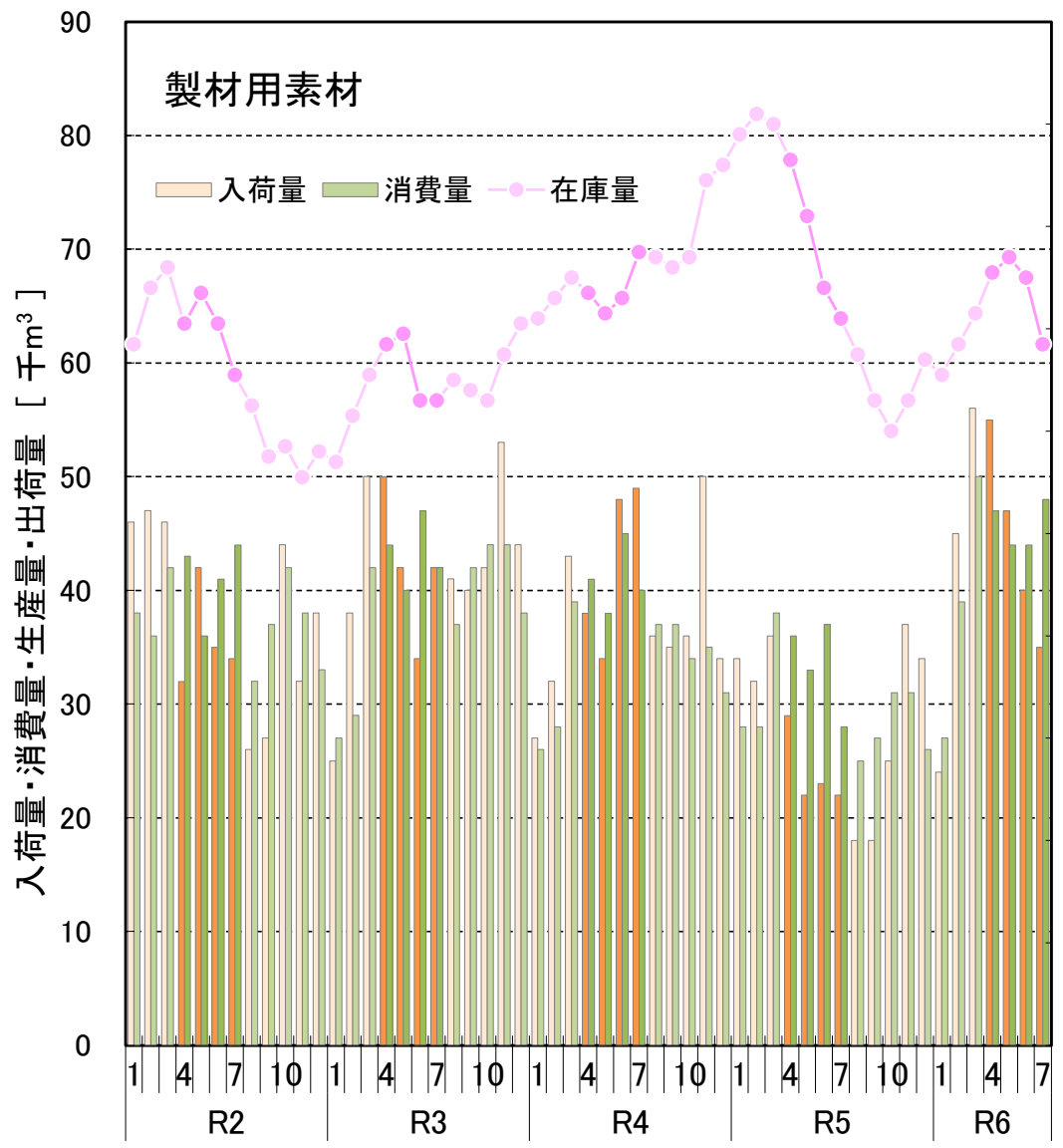


出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値である。

■ 秋田県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年7月）

○ 製材用素材の令和6年4～7月の入荷量は昨年同期比+84%、消費量は+37%、在庫量は7月比-4%。
 ○ 製材品の令和6年4～7月の入荷量は昨年同期比+53%、消費量は+52%、在庫量は7月比+3%。

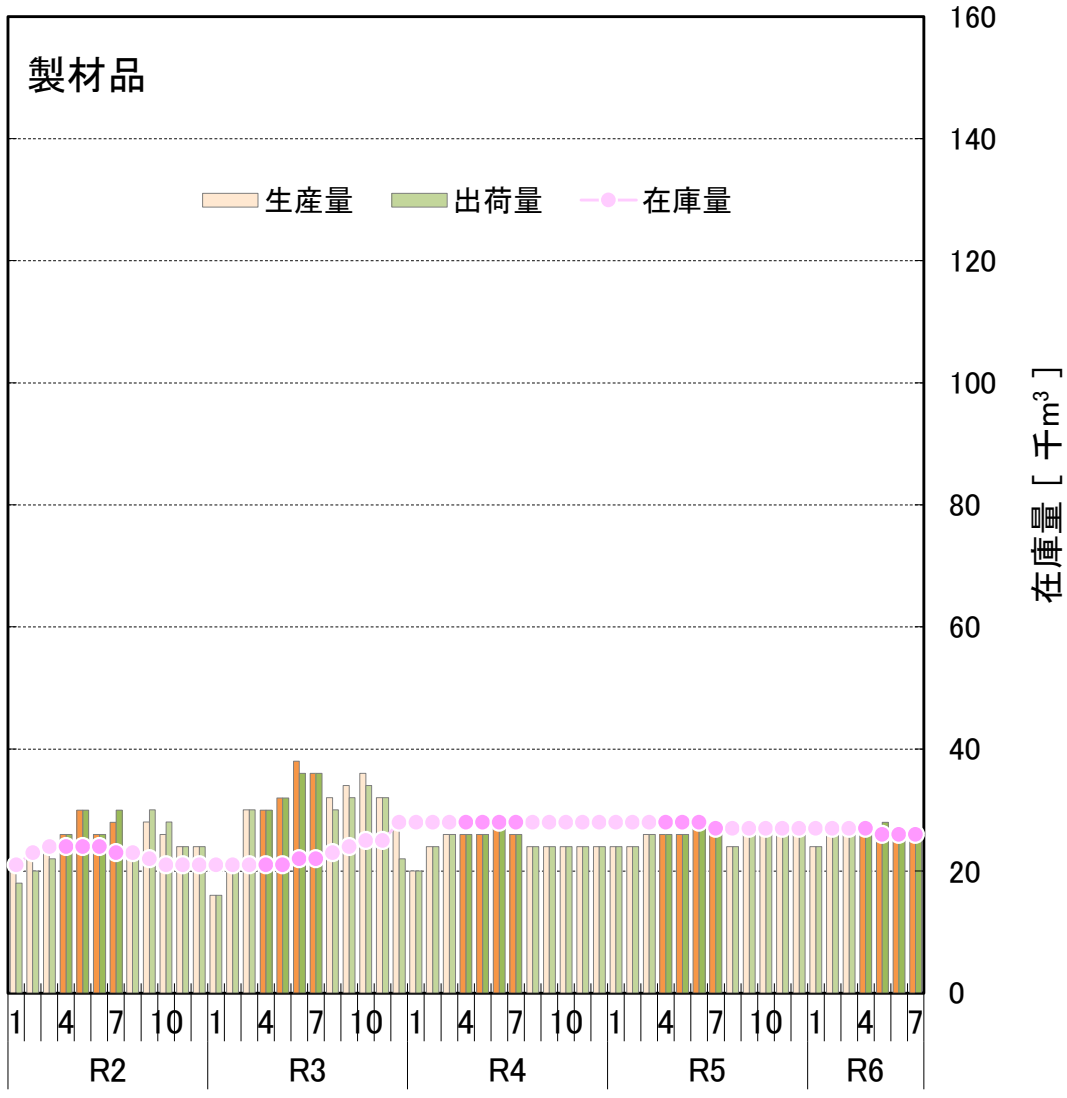
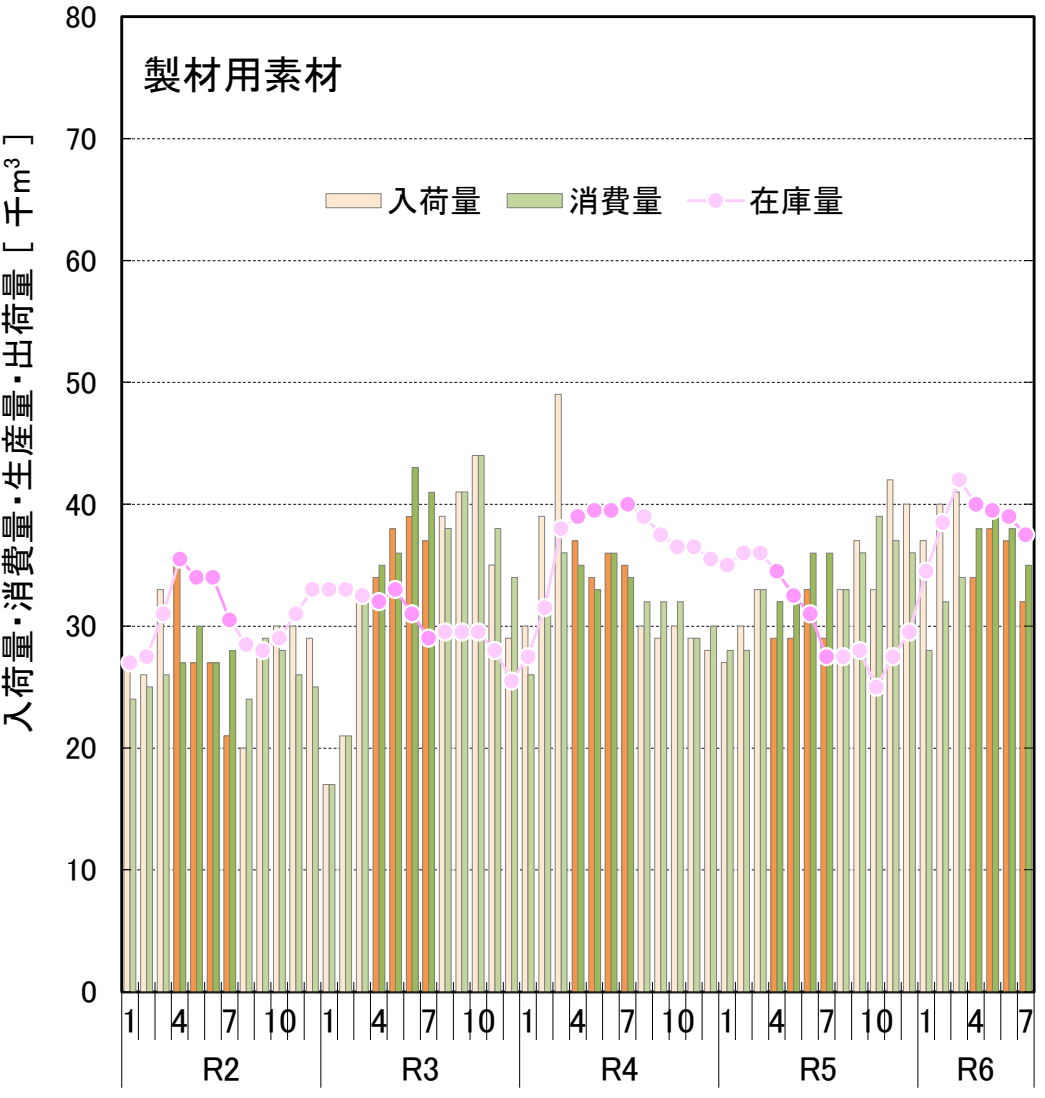


出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値である。

山形県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年7月）

○ 製材用素材の令和6年4～7月の入荷量は昨年同期比+18%、消費量は+9%、在庫量は7月比+36%。
 ○ 製材品の令和6年4～7月の入荷量は昨年同期比±0%、消費量は+3%、在庫量は7月比-4%。

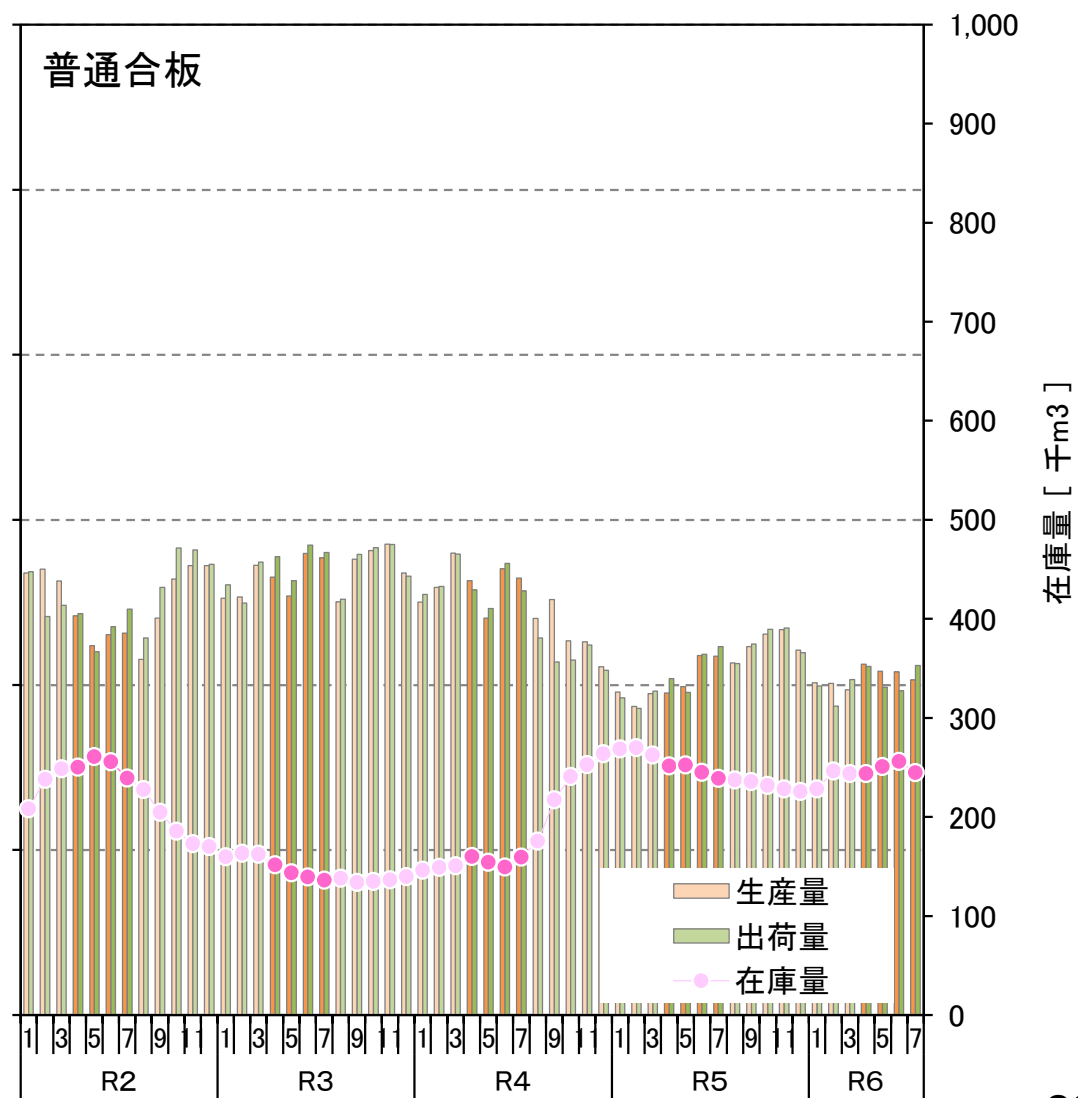
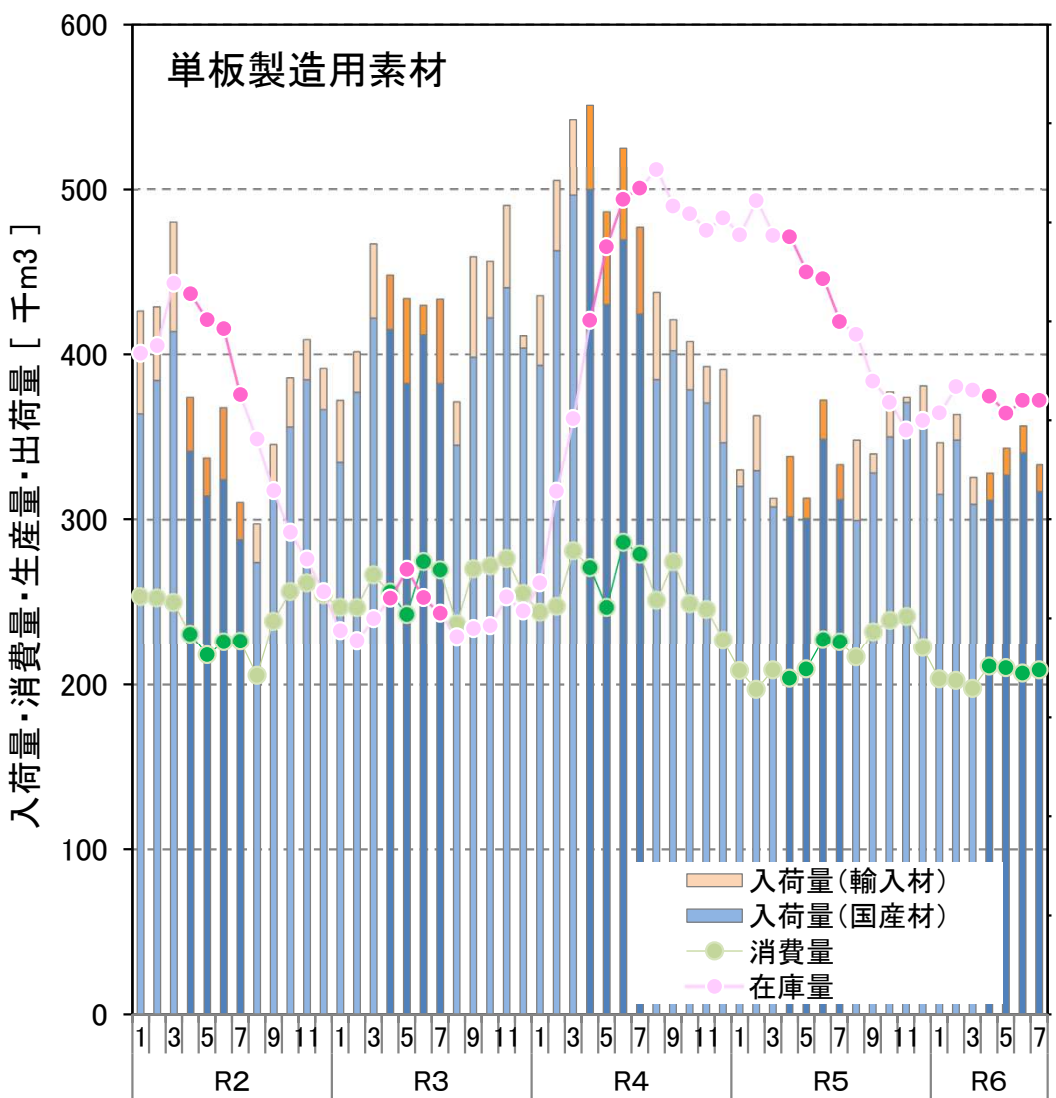


出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値である。

■ 全国の単板製造用素材・普通合板の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年7月）

- 単板製造用素材の令和6年4～7月期の入荷量は昨年同期比+2%、うち国産材は+3%、消費量は-3%、在庫量は7月比-11%。
- 普通合板の令和6年4～7月期の生産量は昨年同期比±0%、出荷量は-3%、在庫量は7月比+2%。



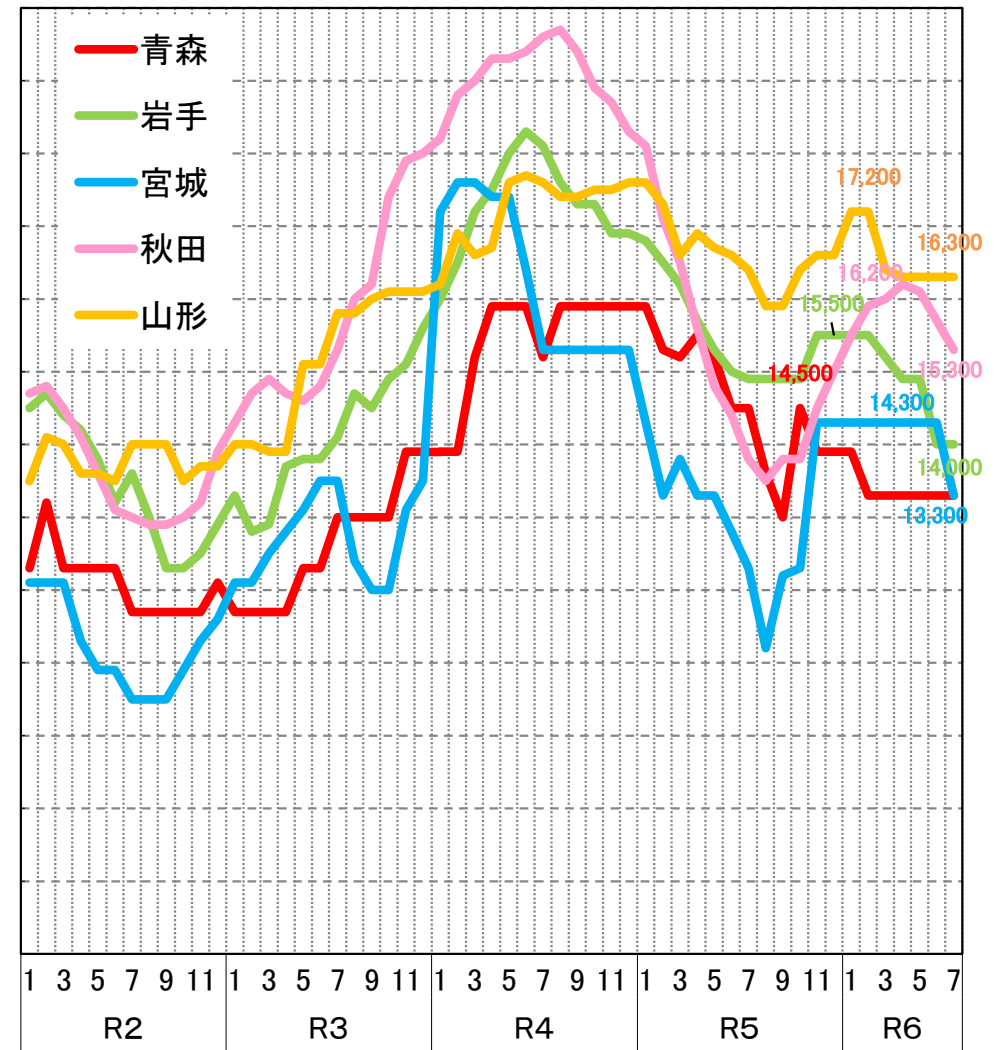
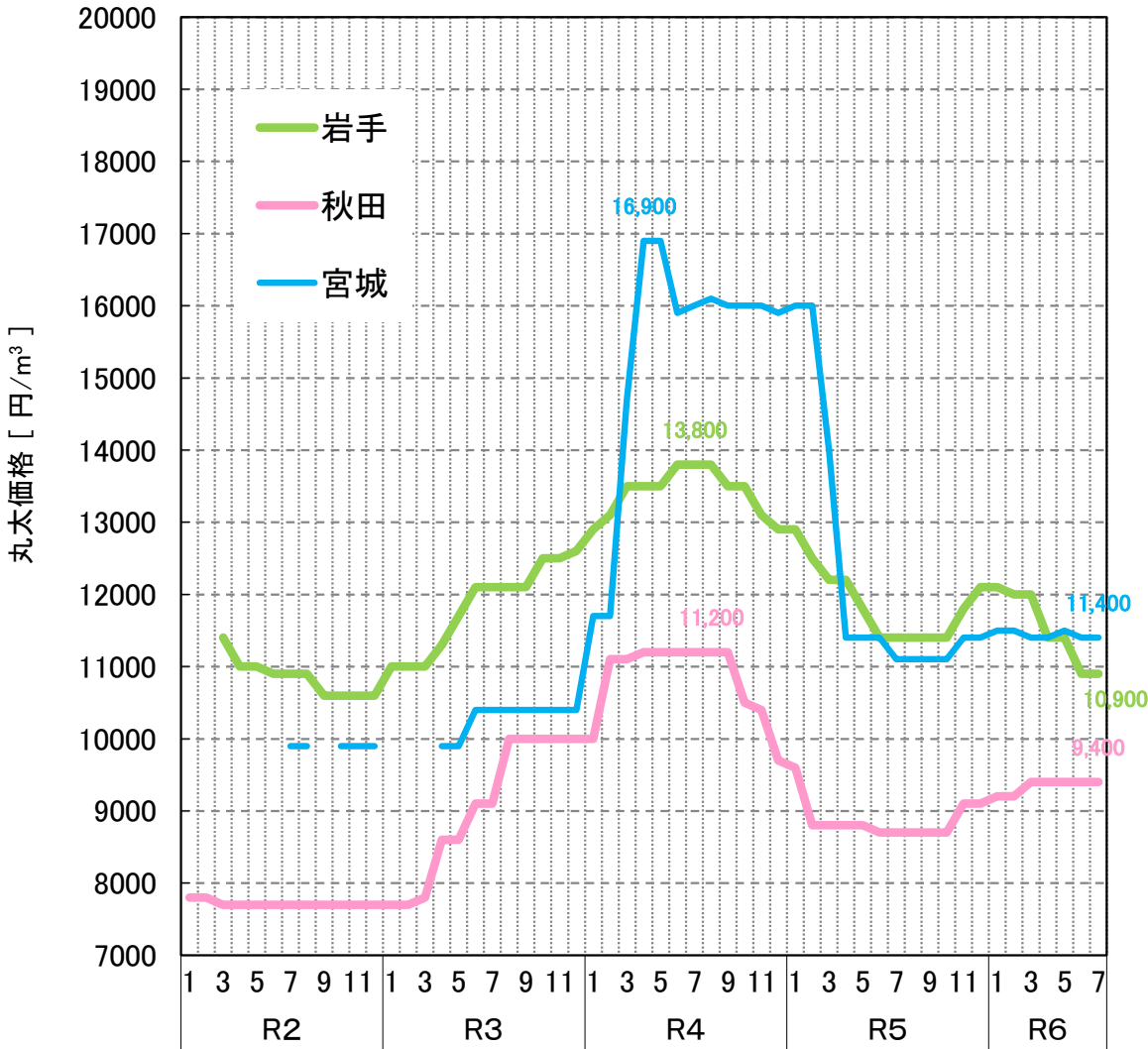
出典：農林水産省「合板統計」

■ すぎ丸太価格の推移 (令和2年1月～令和6年7月)

- すぎ小丸太価格は3月以降、岩手で弱含み、宮城、秋田で横ばいの傾向がみられる。
- すぎ中丸太価格は5月以降、秋田、岩手、宮城で弱気調、青森、山形では横ばいの傾向がみられる。

すぎ小丸太 3.65～4.00m (8～13cm)

すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



出典: 農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

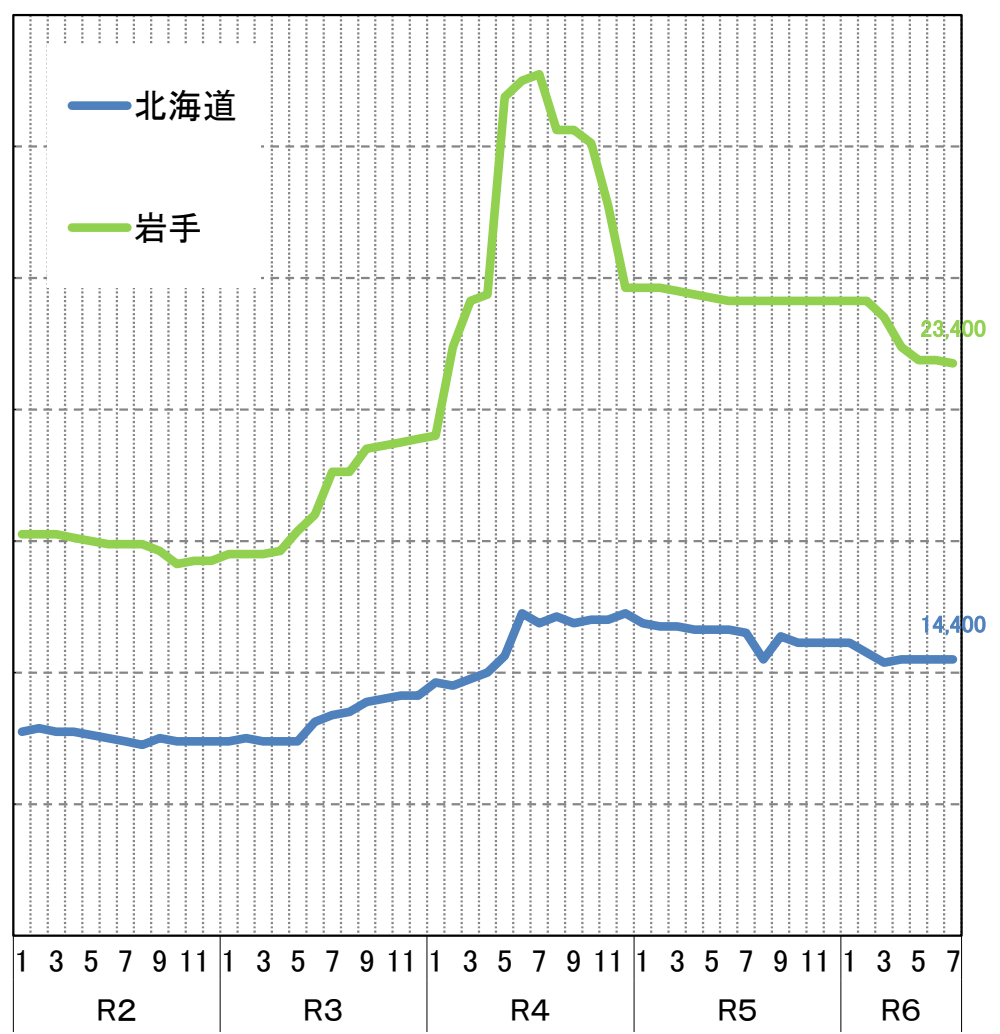
■ まつ・からまつ丸太価格の推移（令和2年1月～令和6年7月）

○ まつ中丸太価格は4月以降、青森、岩手ともに横ばい。
 ○ からまつ丸太価格は3月以降、北海道は横ばい、岩手は弱含みの傾向がみられる。岩手と北海道の価格差は9,000円。

まつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



からまつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)

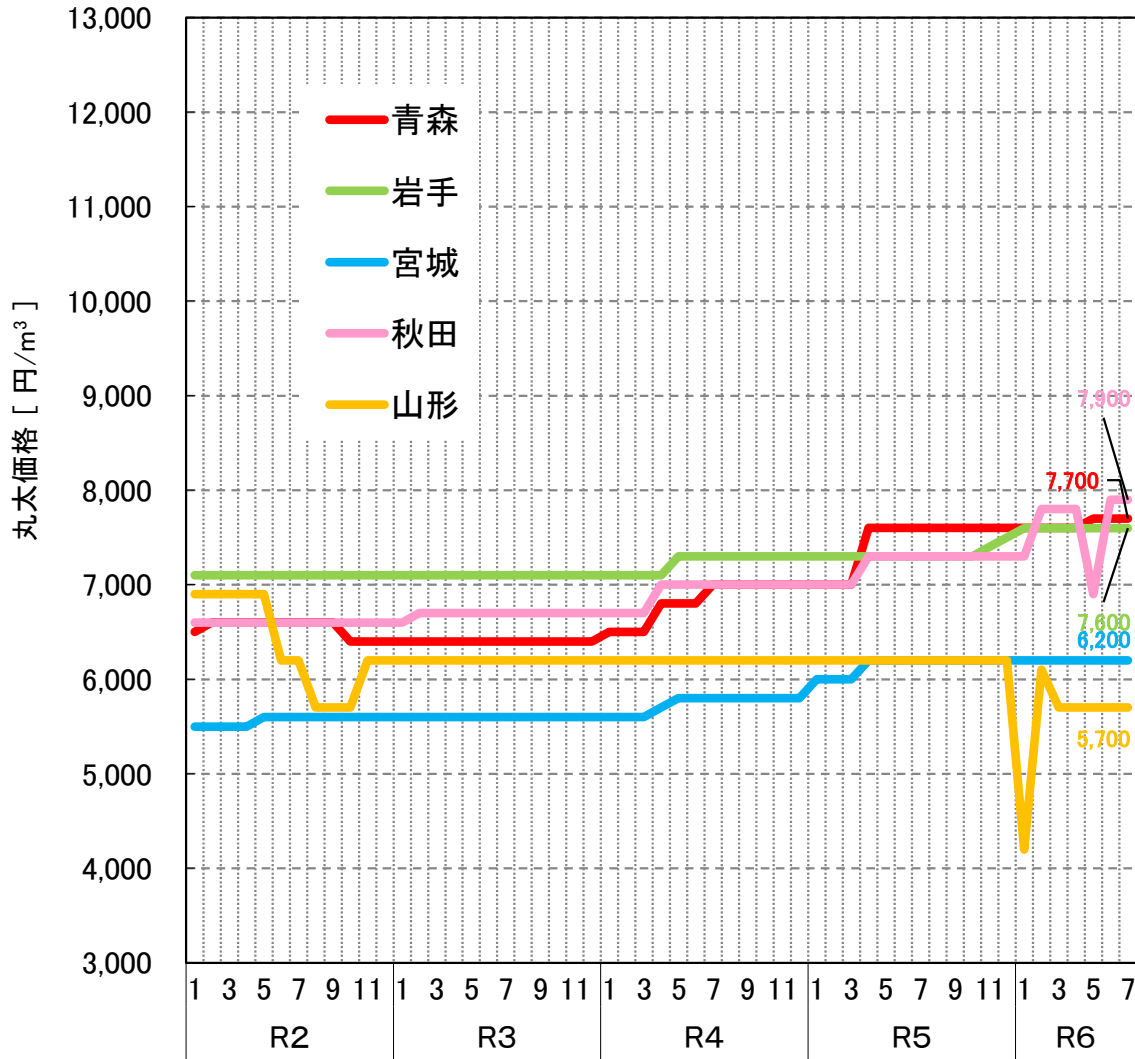


出典: 農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

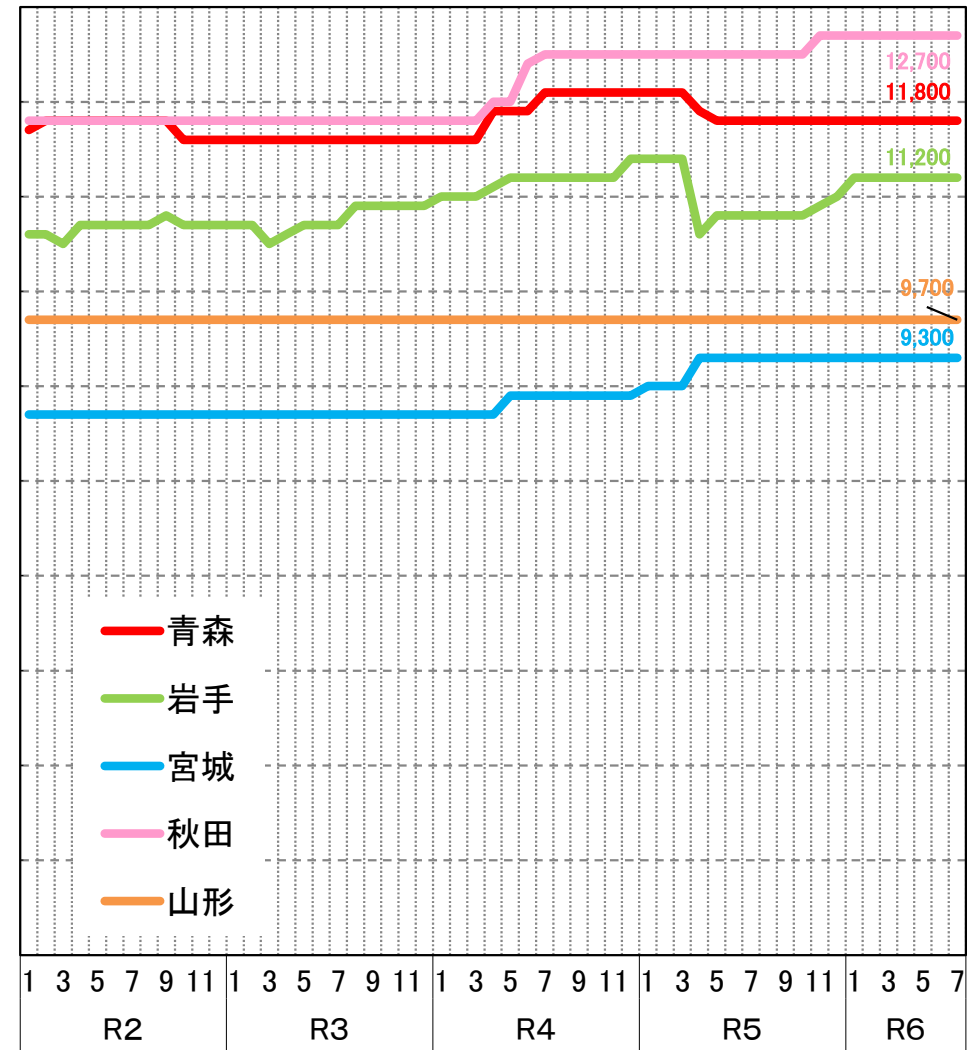
■チップ用丸太価格の推移（令和2年1月～令和6年7月）

○ チップ用丸太価格は針葉樹・広葉樹ともほとんどの県で横ばいだが、針葉樹では秋田では6月に、青森では5月にそれぞれ値上がりした価格を維持している。

針葉樹材



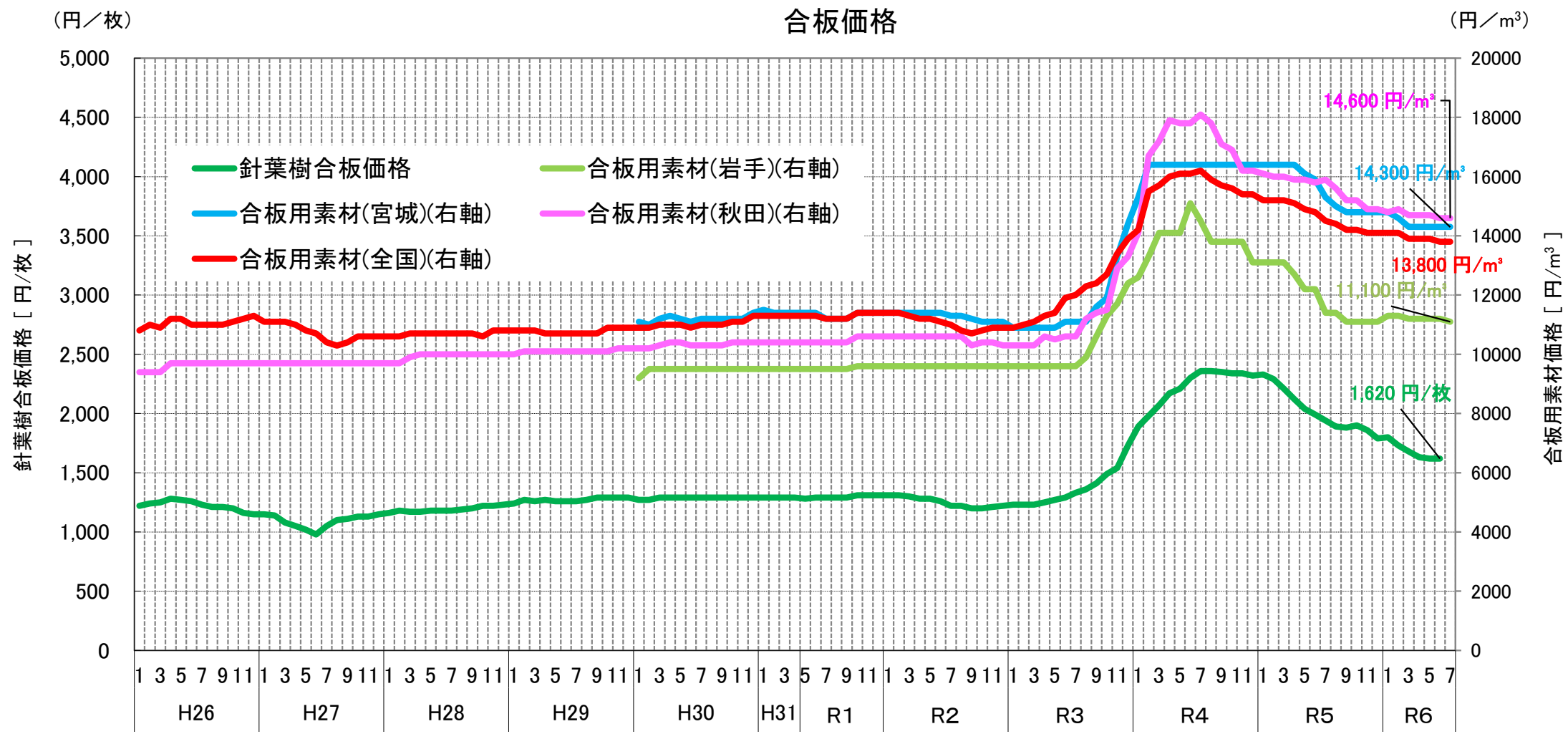
広葉樹材



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

針葉樹合板及び合板用素材価格の推移 (平成26年1月～令和6年7月)

- 針葉樹合板価格は、1,620円/枚。
- 合板用素材価格は、3月以降保合の傾向にある。



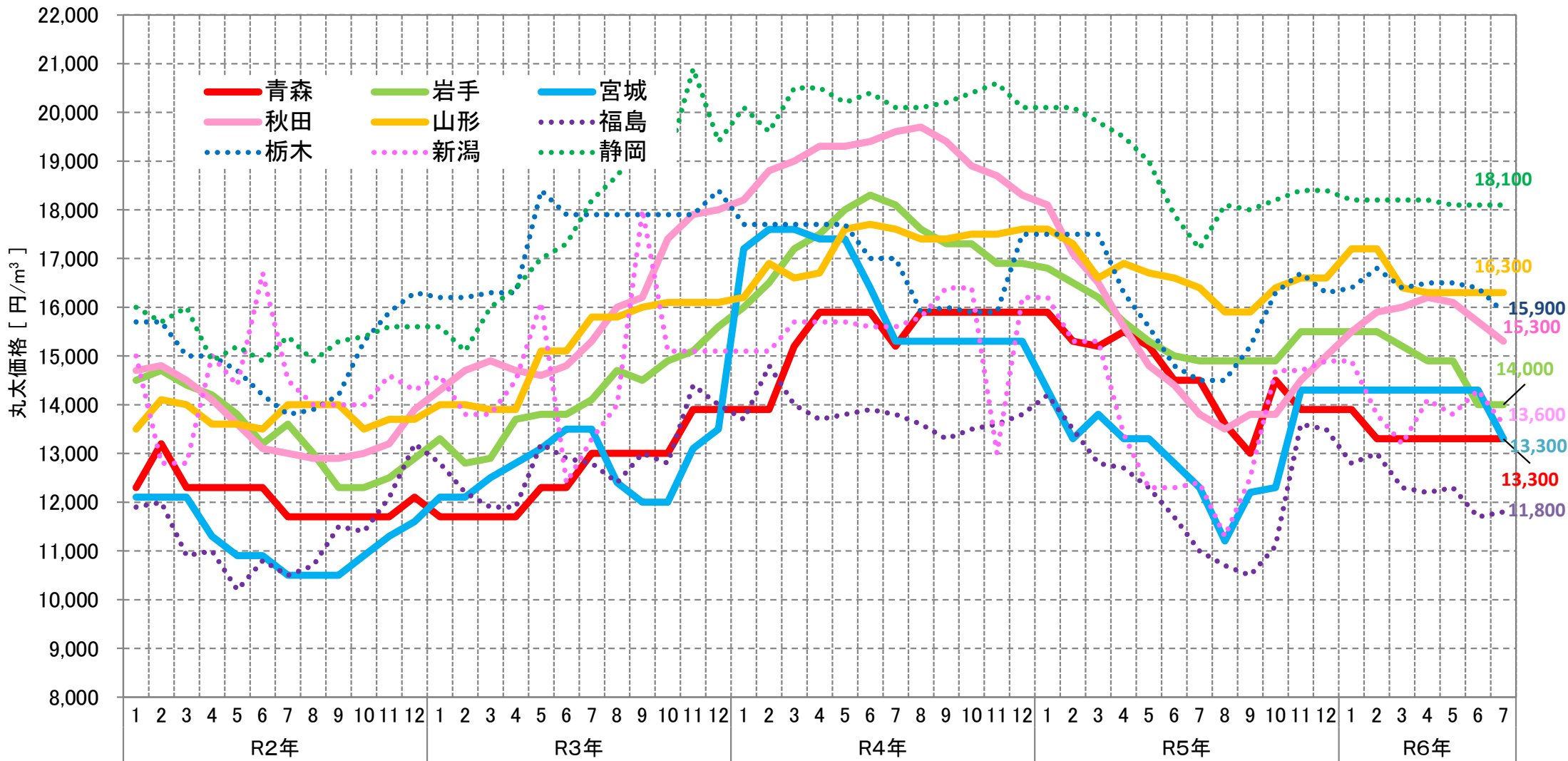
針葉樹合板: 厚さ1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類

出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」
 ※ 平成30年1月に調査都道府県、調査対象工場の見直しを行ったことから、平成29年12月以前の数値とは接続しない。
 ※ 針葉樹合板価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格。合板用素材価格は、合単板工場着購入価格である。

■ 関東地方との木材価格の比較 (令和2年1月～令和6年7月)

○ すぎ中丸太の価格は、4月以降各県で弱保合～保合の傾向がみられている。新潟は6月までは増減を繰り返しながらも強含み傾向にあったが、7月は弱含みの傾向がみられる。

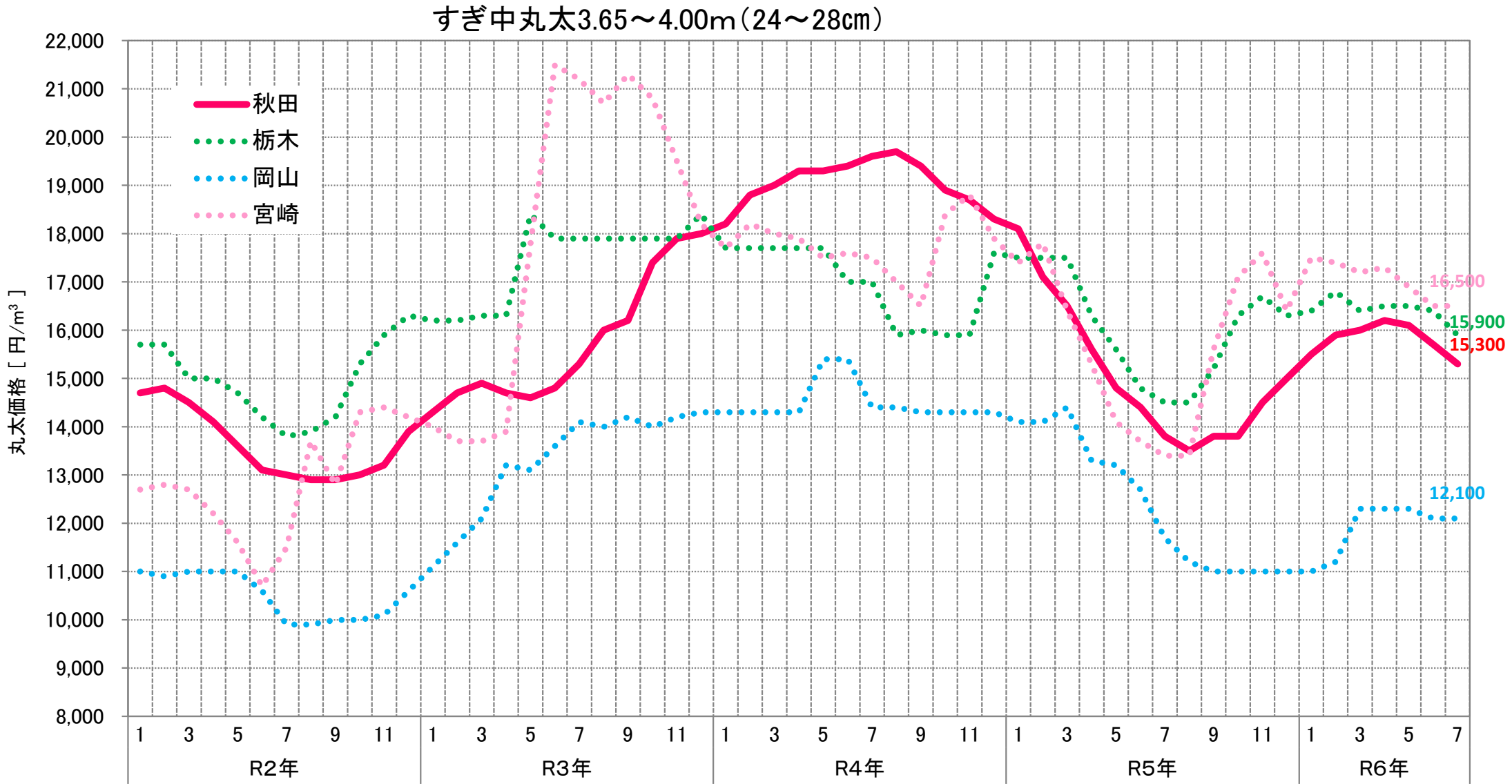
すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



出典: 農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

■ 関東、関西、九州地方との木材価格の比較（令和2年1月～令和6年7月）

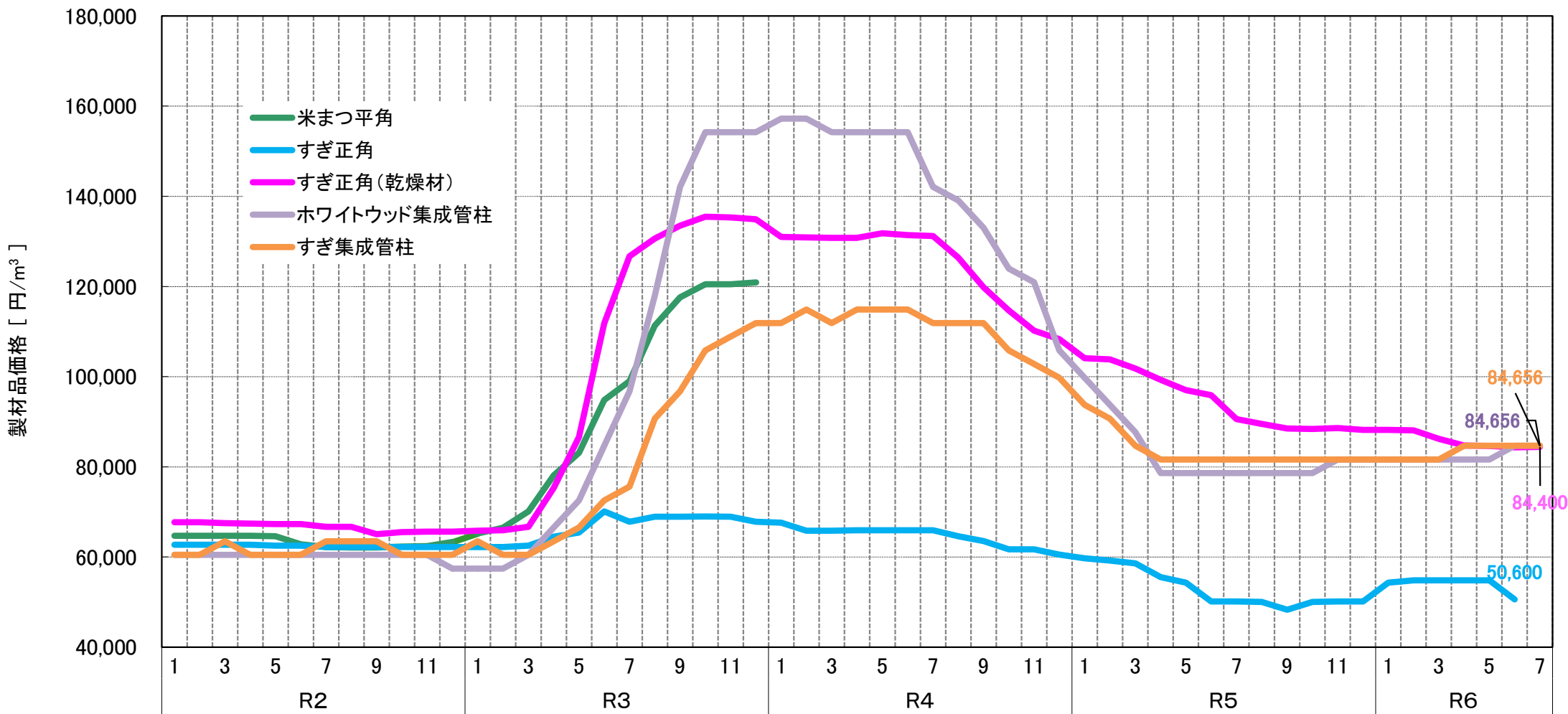
○ 3月までは値上がりしている県もあったが、4月以降は各県、弱保合～弱含みの傾向にある。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

■ 全国の製材品主要品目価格の推移 (令和2年1月～令和6年7月)

○ Wウッド集成管柱とすぎ集成管柱の価格は6月に同額となり横ばい。スギ正角(乾燥材)は保合。
スギ正角は横ばい傾向にあったが6月より弱保合。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

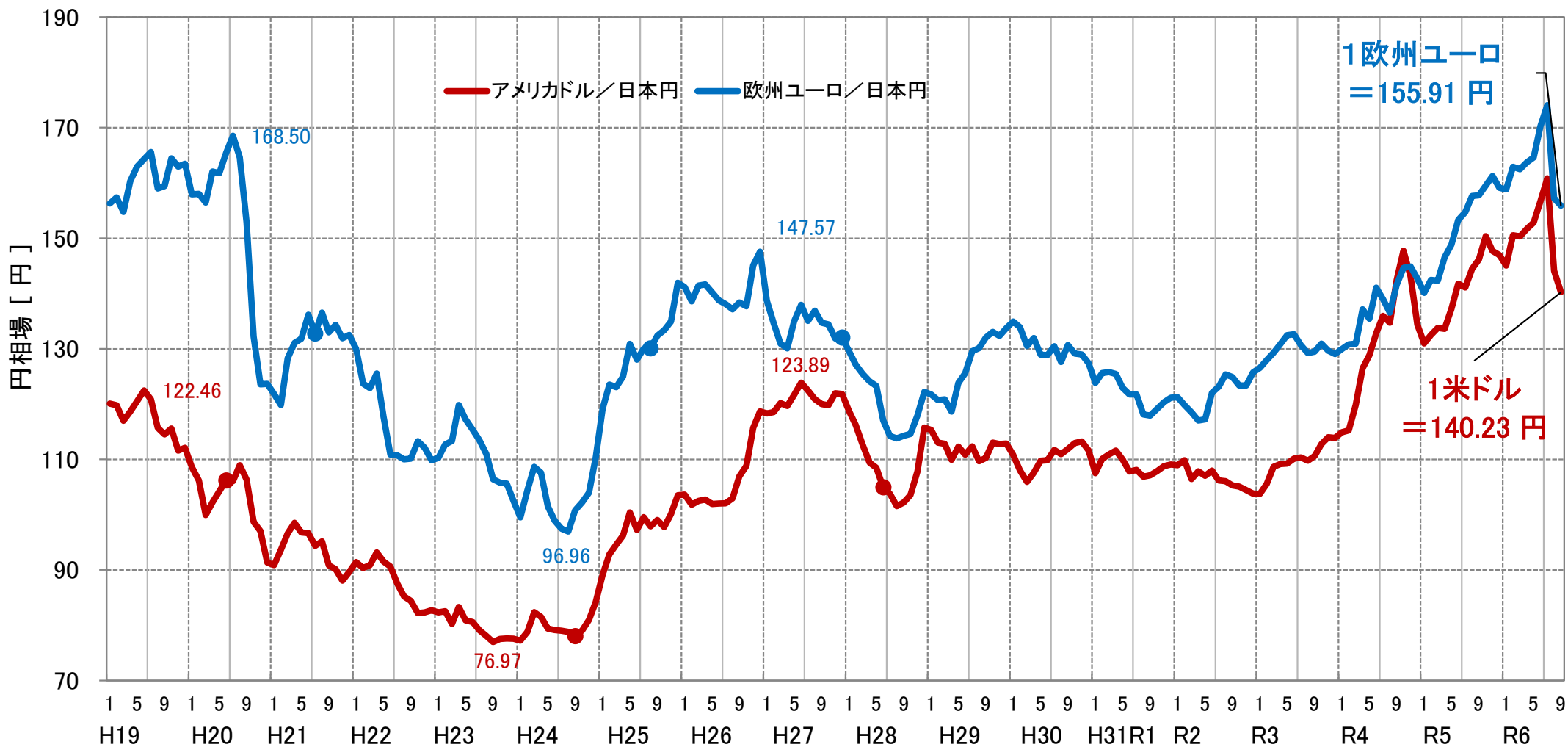
※1 価格は、令和2年1月以降のホワイトウッド集成管柱及びすぎ集成管柱は集成材工場出荷時の販売価格、それ以外は木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格となる。

※2 令和2年1月から、ホワイトウッド集成管柱は規格及び調査都道府県、調査対象工場の見直しを行い、調査価格も※1の通り変更となったことから、令和元年12月以前の数値とは接続しない。

※3 令和4年1月調査から、米まつ平角の製材品価格の把握は廃止された。

為替レートの推移 (平成19年1月～令和6年9月)

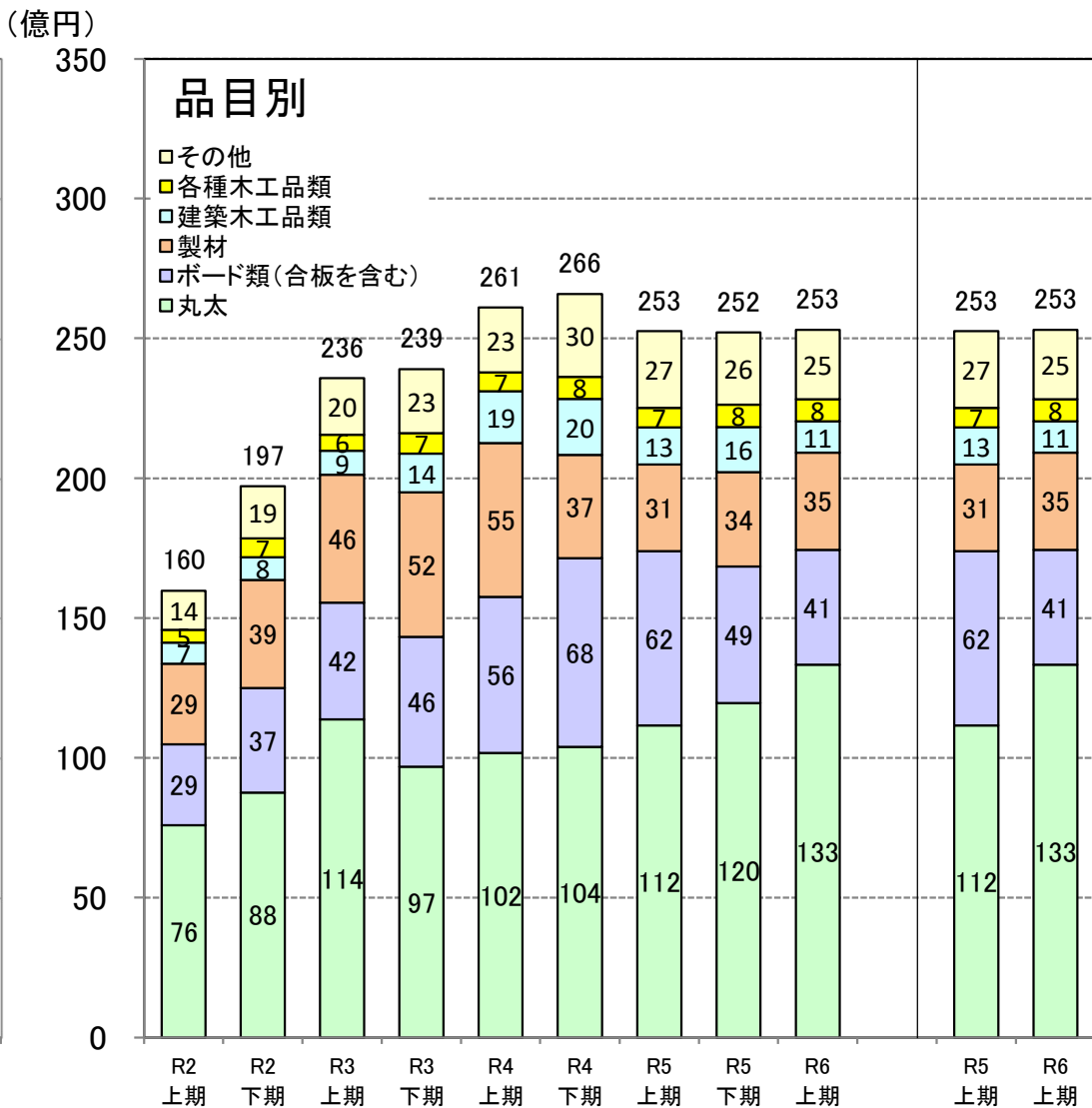
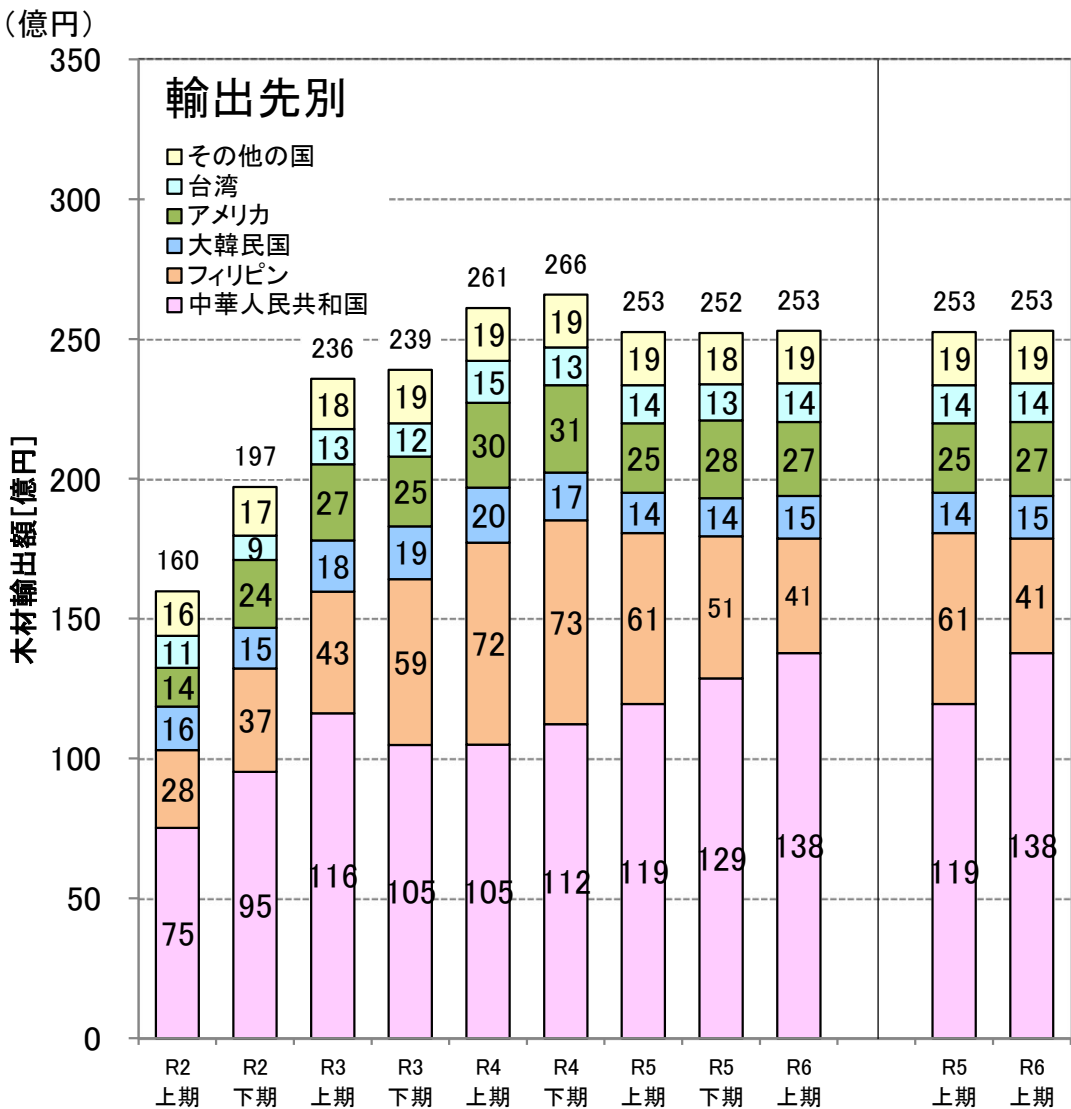
- 米ドルは、9月16日現在140円台。
- 欧州ユーロは、9月16日現在150円台。



出典：Yahoo! ファイナンス(毎月の値は、月間の最高値と最低値の平均)
 (注)：令和6年9月16日現在

輸出先別及び品目別の木材輸出額の推移（全国）

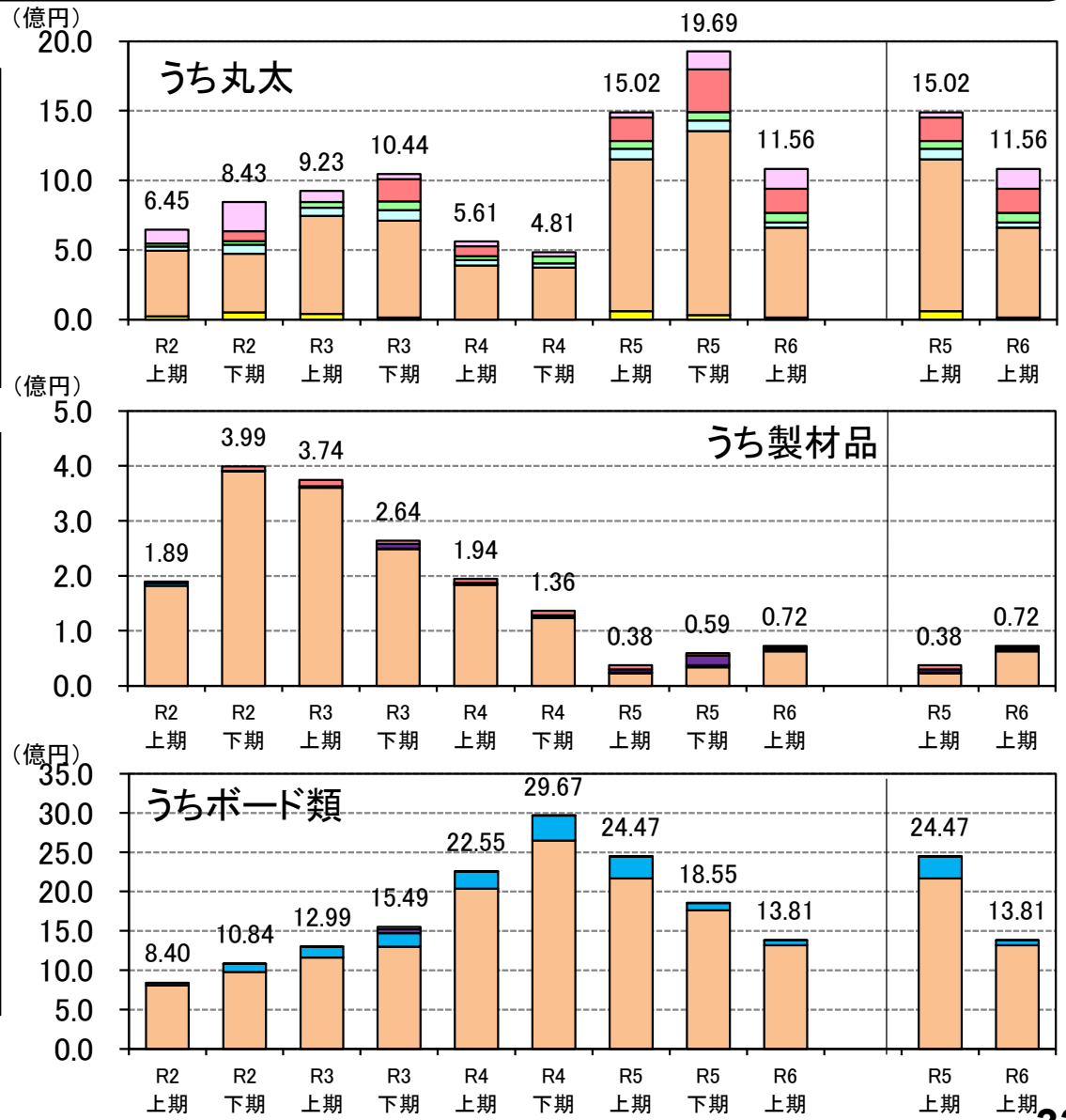
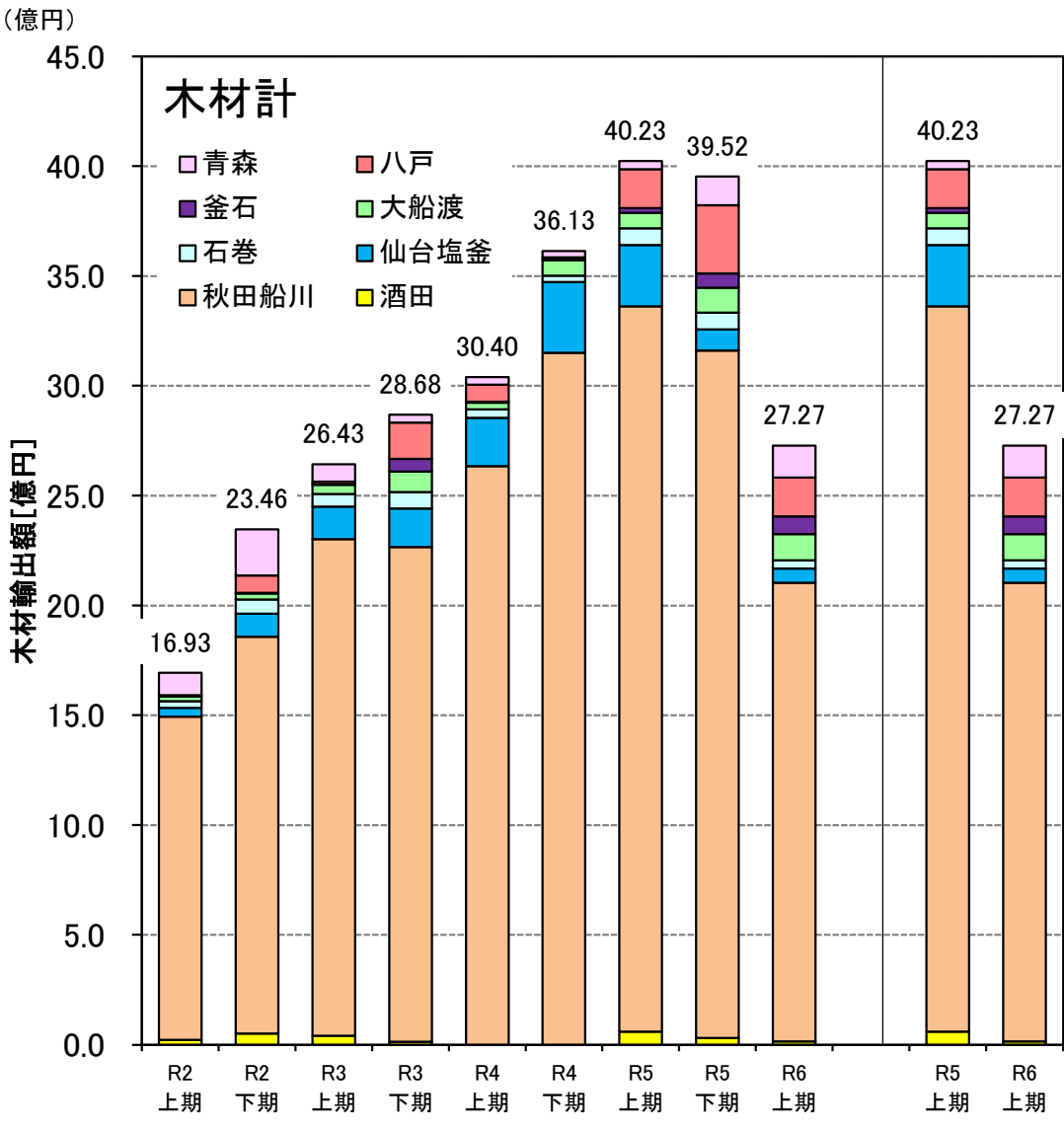
- 木材輸出額はR6年上期を昨年同期と比較すると+0.2%となっている。
- R6年上期の主要相手国は、中国、フィリピン、アメリカ、韓国、台湾となっている。
- 品目別輸出額では、丸太が最も高く、次いでボード類、製材となっている。
- R6年上期と昨年同期を比較すると、丸太が+20%、製材が+12%、ボード類が-34%となっている。



出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

東北5県における木材輸出額の推移

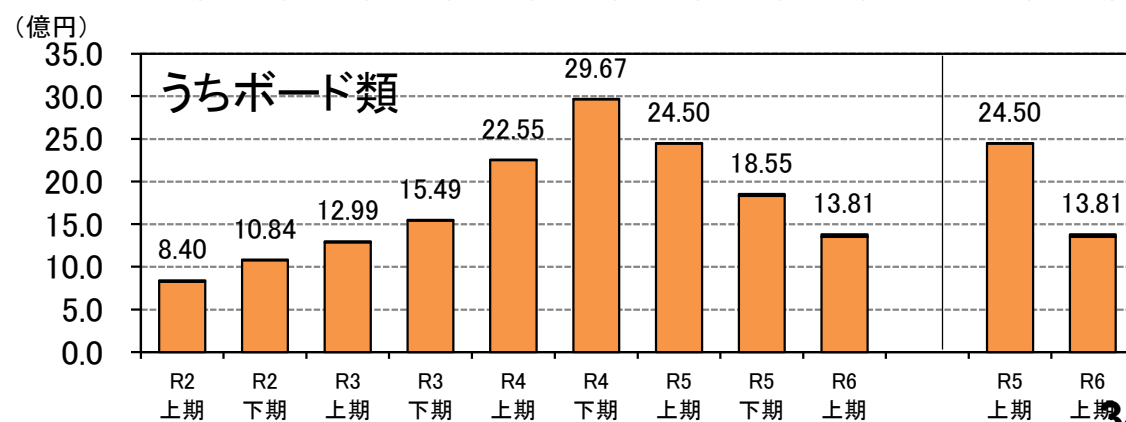
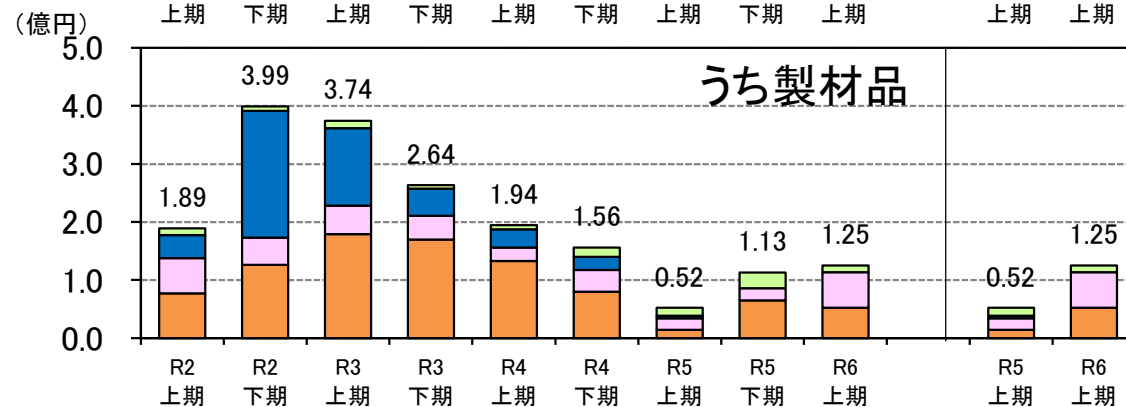
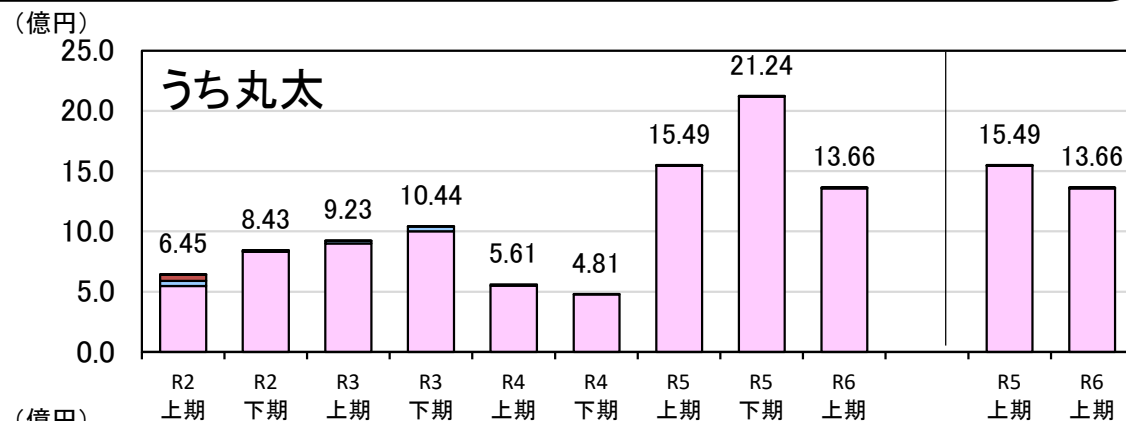
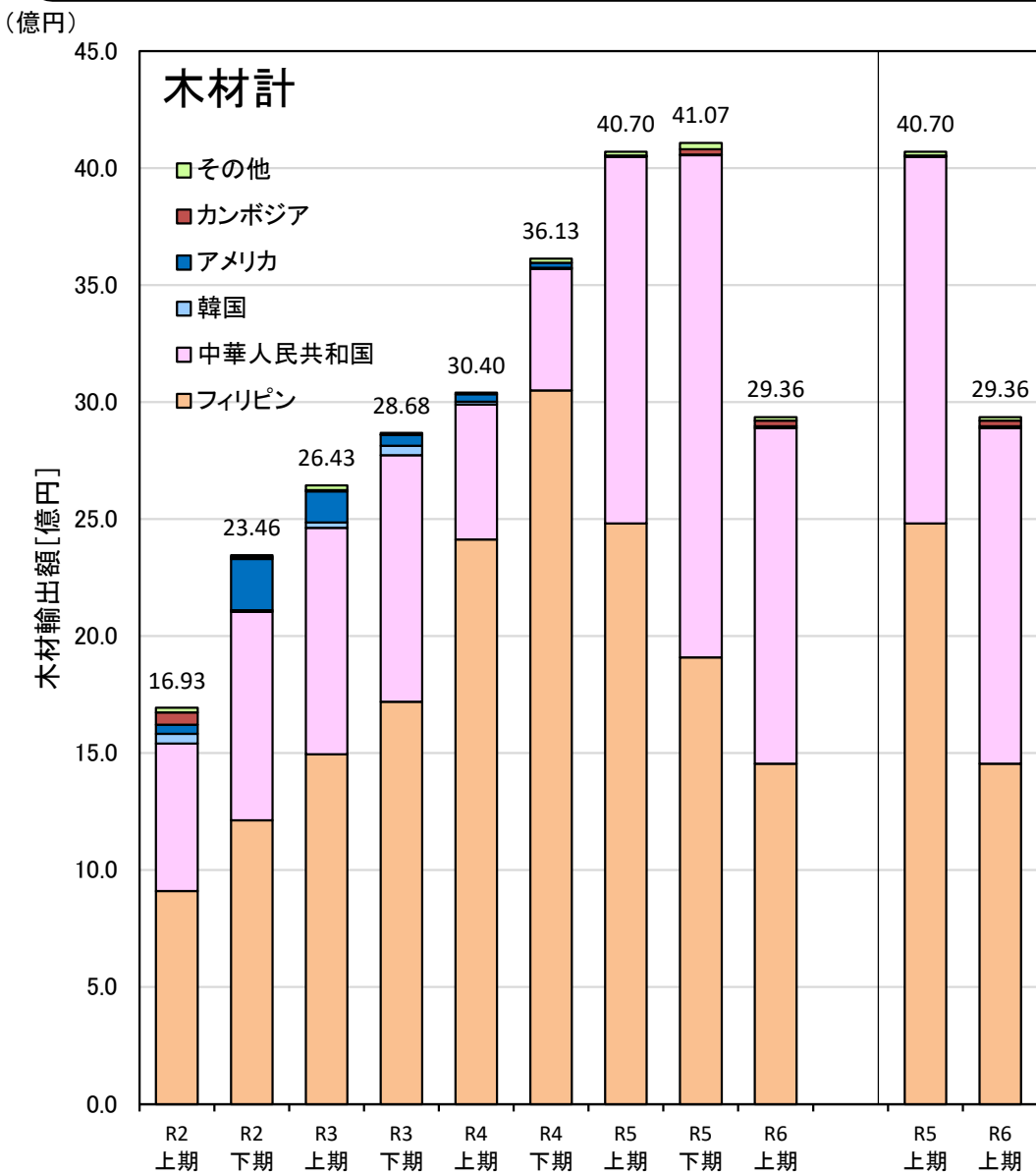
○ R6年上期と昨年同期を比較すると-32%となっている。
 ○ 品目別比較すると、丸太が-23%、製材が+39%、ボード類が-44%となっている。



出典: 財務省「貿易統計: 統計品別国別税関別一覧表」

■ 東北5県における輸出先別の木材輸出額の推移

- R6年上期の木材輸出額は、フィリピンが最も多く、次いで中国、カンボジアとなっている。
- 品目別では、丸太、製材は中国が最も多く、ボード類はフィリピンが最も多くなっている。

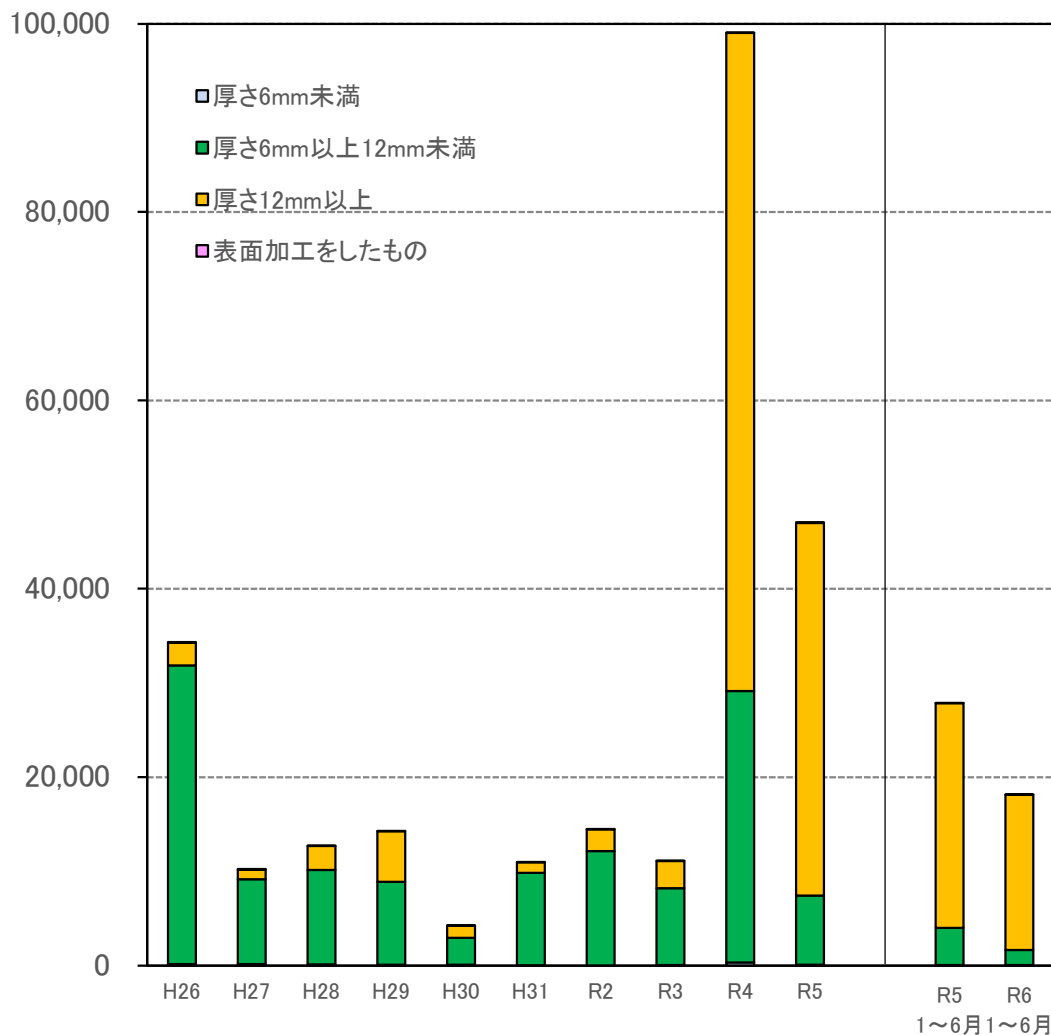


出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

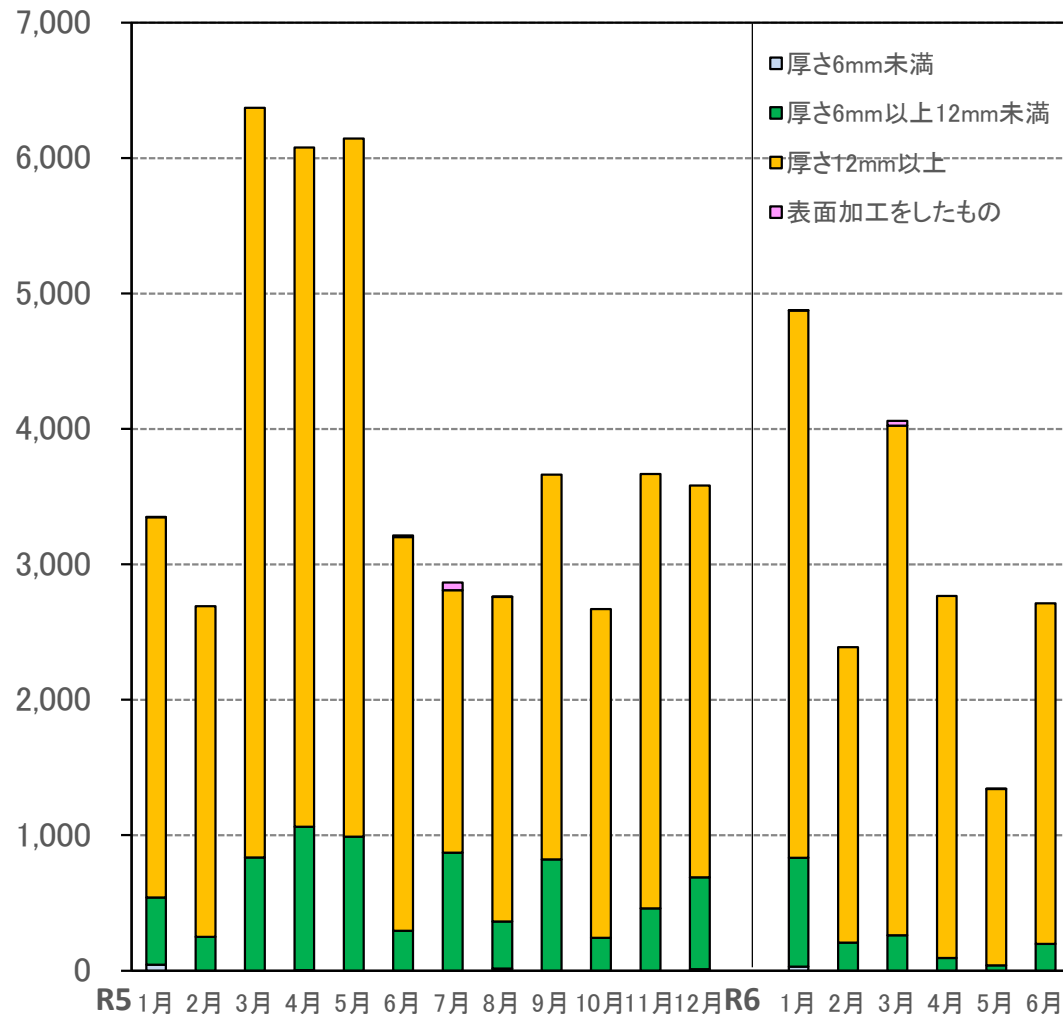
中国からの針葉樹合板の輸入量の推移

- R6年上期と昨年同期を比較すると、-35%となっている。
- R5年の輸入量は3月が最も多かったが、R6年は現状1月が最も多い。

中国からの合板輸入量(年別)



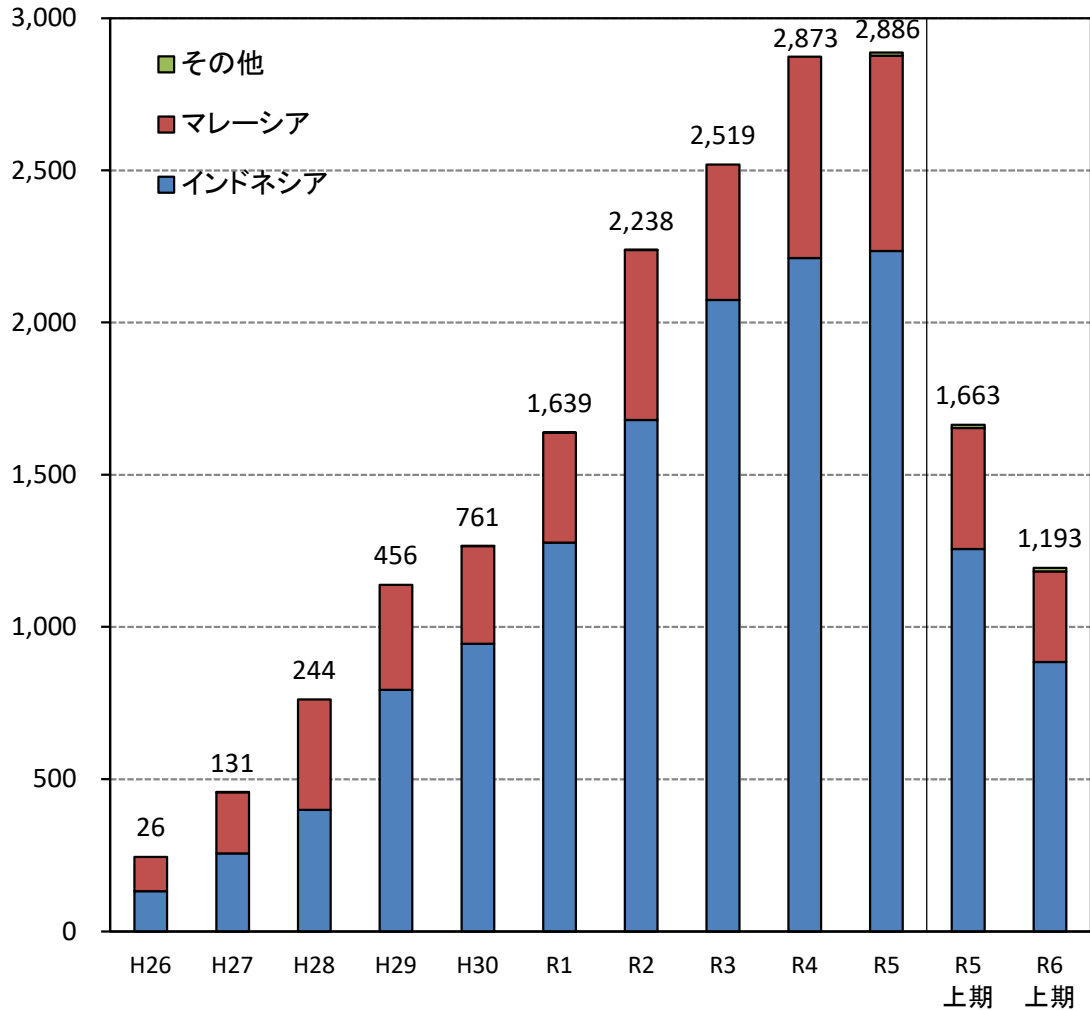
中国からの合板輸入量(R5・R6 月別、m³)



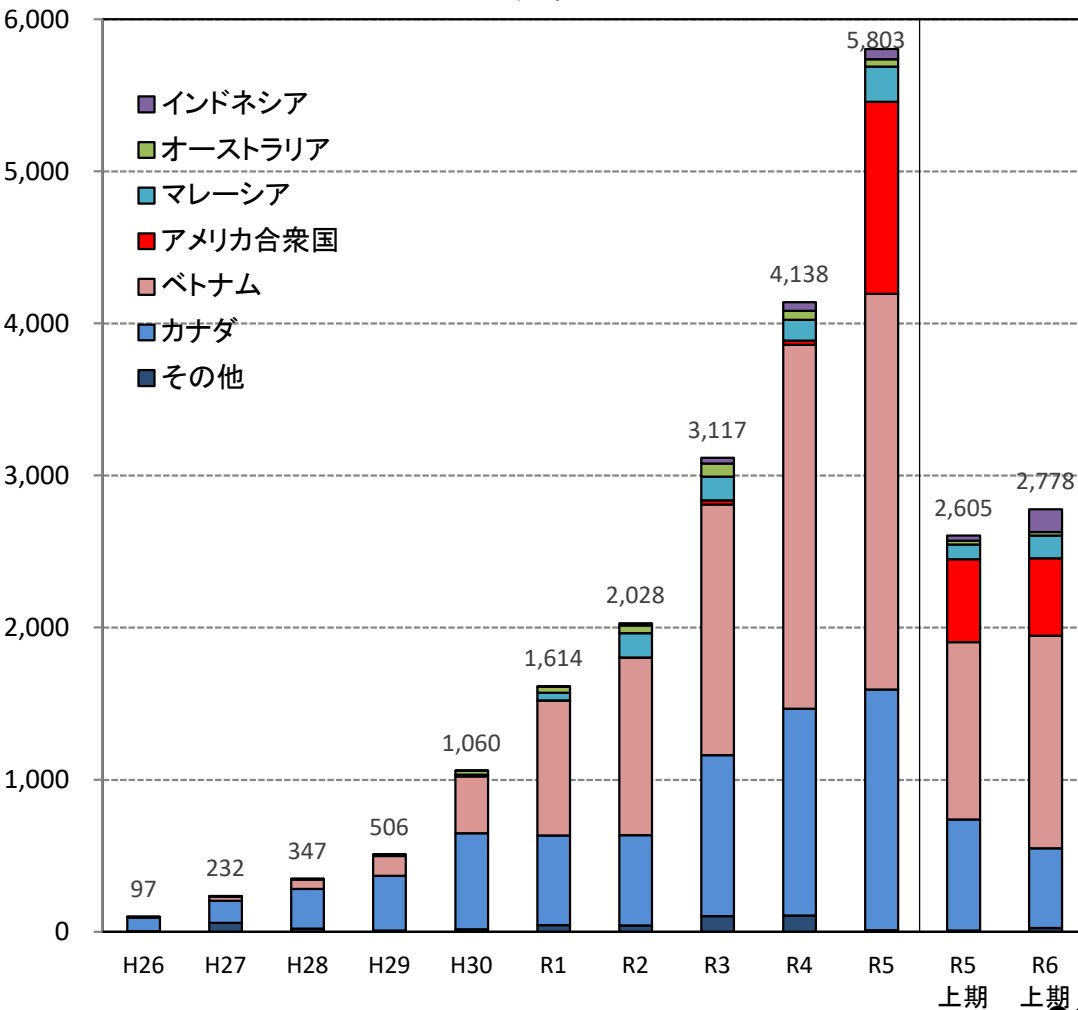
PKS・木質ペレットの輸入量の推移

○ PKS輸入量は、R6年上期と昨年同期を比較すると、-28%となっている。
 ○ 主な輸入相手国は、インドネシア74%、マレーシア25%となっている。
 ○ 木質ペレット輸入量は増加しており、R6年上期と昨年同期を比較すると、+7%となっている。
 ○ 主な輸入相手国は、ベトナム50%、カナダ19%、アメリカ合衆国18%、インドネシア5%となっている。

PKS



木質ペレット



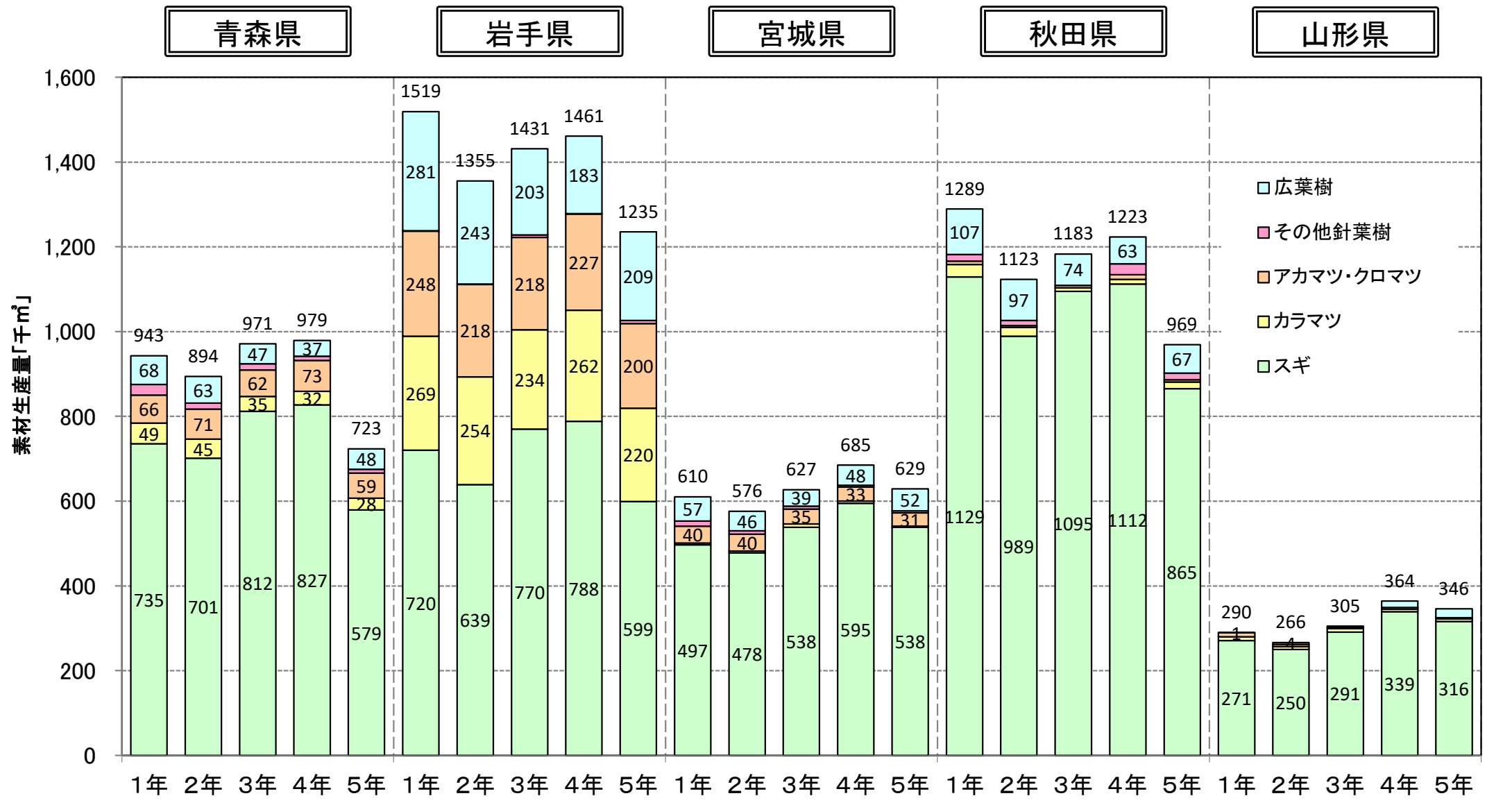
出典：財務省「貿易統計：品別国別統計」

補足資料

- P39～40 東北森林管理局管内の素材生産量（引用：令和6年7月19日公表「令和5年木材統計」）
- P41 中国からの針葉樹合板の輸入額の推移
- P42 PKS・木質ペレットの輸入量の推移

■ 東北森林管理局管内各県の国産材の樹種別素材生産量(民・国の合計)

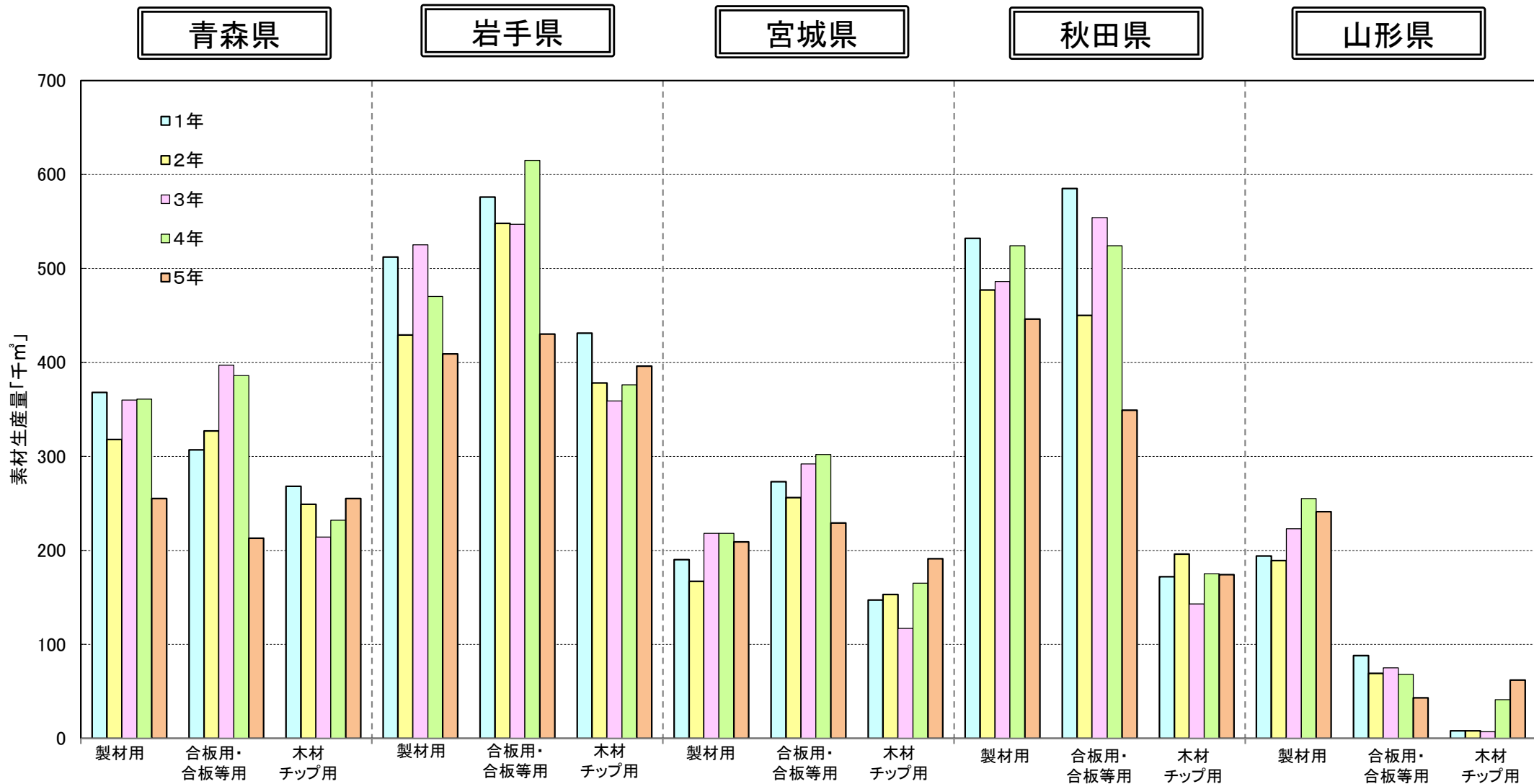
○ 生産樹種は県によって異なる。青森県・宮城県・秋田県・山形県はスギが主体。
 ○ 岩手県ではスギに加え、カラマツ・アカマツ・クロマツ・広葉樹の生産量が多い。



出典：農林水産省「木材統計」(令和5年度までの集計値)

■ 東北森林管理局管内各県の需要部門別国産材の素材生産量

- R5年の製材用の比率が高いのは山形県(70%)。
- R5年の合板等用の比率は岩手県(35%)、宮城県(36%)、秋田県(36%)が高い。
- R5年の木材チップ用の比率は秋田県(18%)、山形県(18%)が低い。

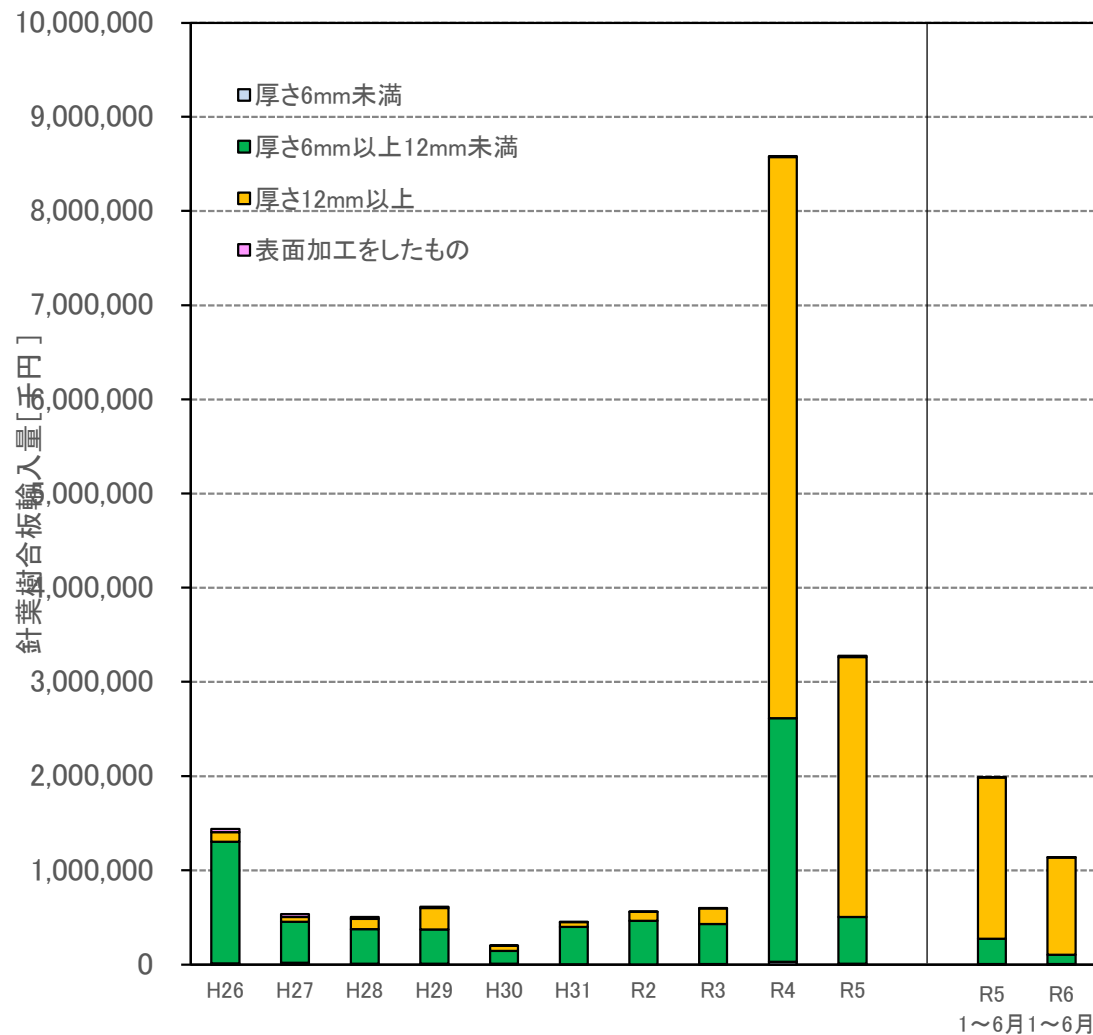


出典：農林水産省「木材統計」(令和5年度までの集計値)
 注意：平成29年度から、「合板用」が新たにLVL用を含めた「合板等用」に変更となった

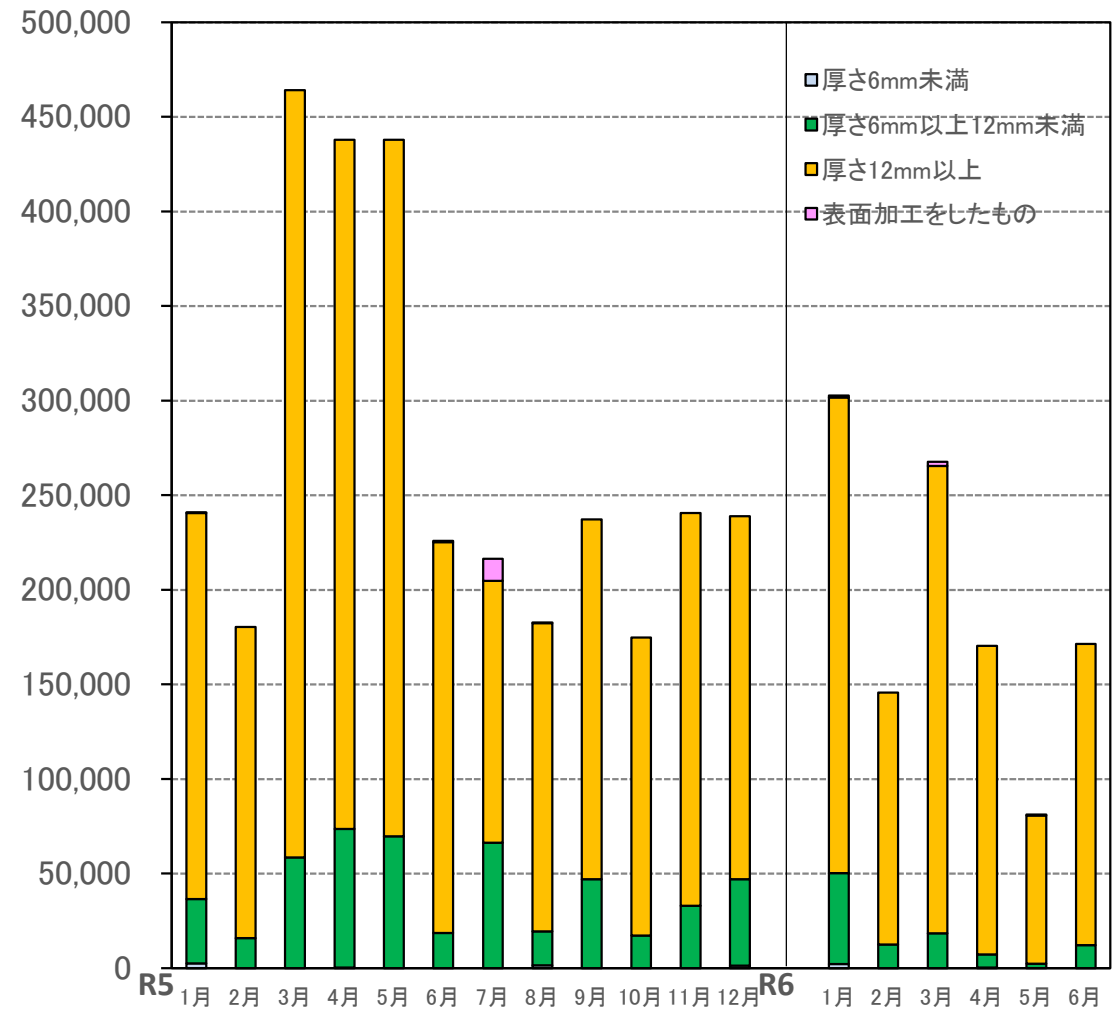
中国からの針葉樹合板の輸入額の推移

- R6年上期と昨年同期を比較すると、-43%となっている。
- R5年の輸入量は3月が最も多かったが、R6年は現状1月が最も多い。

中国からの合板輸入量(年別)



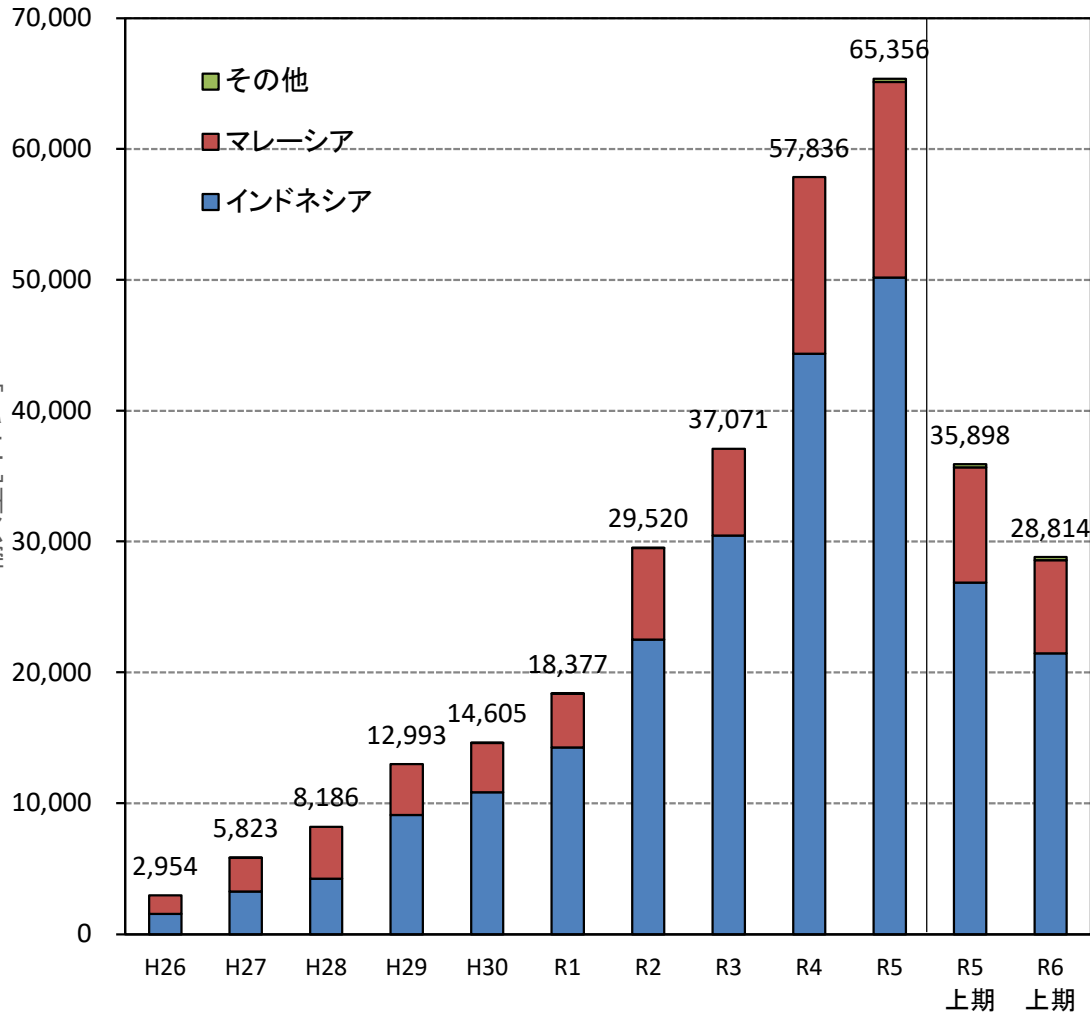
中国からの合板輸入量(R5・R6 月別、千円)



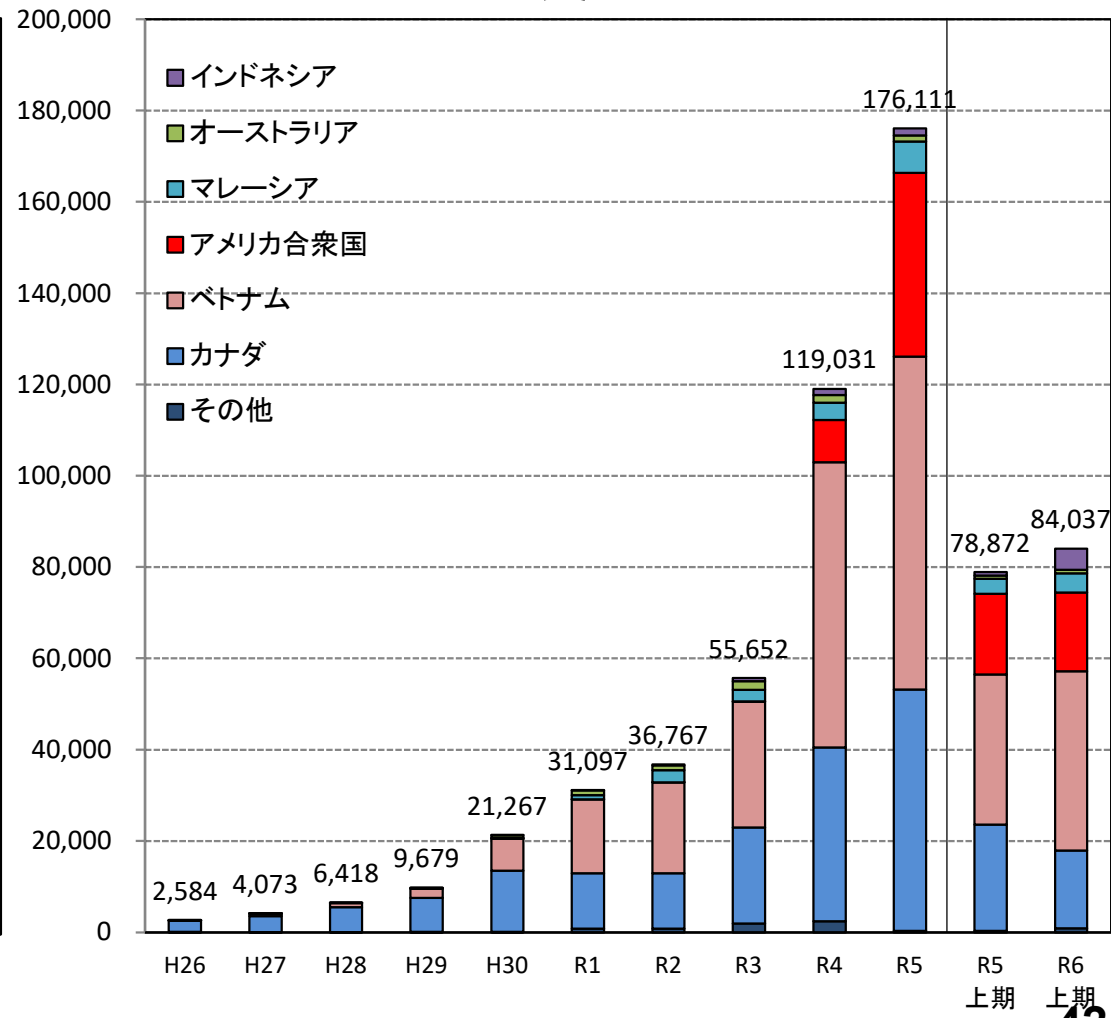
PKS・木質ペレットの輸入額の推移

- PKS輸入量は、R6年上期と昨年同期を比較すると、-20%となっている。
- 主な輸入相手国は、インドネシア75%、マレーシア25%となっている。
- 木質ペレット輸入量は増加しており、R6年上期と昨年同期を比較すると、+7%となっている。
- 主な輸入相手国は、ベトナム47%、アメリカ合衆国21%、カナダ20%、インドネシア6%となっている。

PKS



木質ペレット



出典：財務省「貿易統計：品別国別統計」